

鎌倉市 防災情報ハンドブック

普段から備え

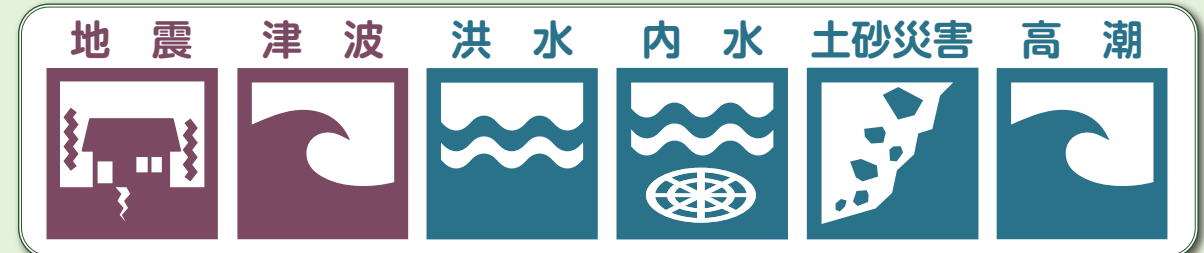
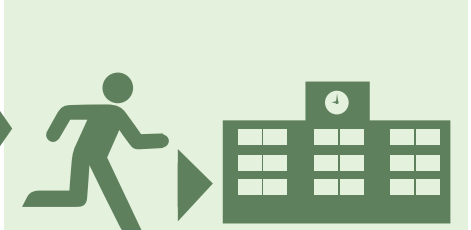


ハザードマップを活用して 避難行動を考えよう！

いざ災害時に



命を守る行動



この地図は、国土地理院の「基盤地図情報(数値標高モデル)」を使用したものです。

鎌倉市 市民防災部 総合防災課

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10 TEL0467-23-3000 (代表) 防災担当
<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>

2025年3月作成

目次

はじめに

- 1-1. 鎌倉市 防災情報ハンドブックの目的 1
- 1-2. 災害に備える 3
- 1-3. 鎌倉市の避難施設 5
- 1-4. 災害時の避難について 8
- 1-5. わが家の避難行動(マイ・タイムライン) .. 9

地震・津波

- 2-1. 鎌倉近世近代歴史地震年表 10
- 2-2. 鎌倉市 揺れやすさマップ 11
- 2-3. 鎌倉市 液状化危険度マップ 12
- 2-4. 地震時に取りるべき行動 13
- 2-5. 地震・津波時の情報 17

- 2-6. 鎌倉市 津波ハザードマップ …… 18
- ①腰越・七里ガ浜エリア(腰越地域) …… 18
- ②由比ガ浜・材木座・長谷・坂ノ下・稲村ガ崎エリア(鎌倉地域) …… 19

風水害・土砂災害

- | | |
|--------------------|----|
| 3-1. 鎌倉市で想定される風水害 | 21 |
| 3-2. 風水害時取るべき行動 | 23 |
| 3-3. 避難の心得 | 24 |
| 3-4. 風水害時の情報と行動の目安 | 25 |
| 3-5. 鎌倉市 洪水ハザードマップ | 26 |
| ① 神戸川水系（腰越地域） | 26 |
| ② 境川水系（深沢、大船、玉縄地域） | 27 |
| ③ 滑川水系（鎌倉地域） | 29 |

- 3-6. 鎌倉市 内水ハザードマップ 31
- ①大船・玉縄地域 31
- ②腰越・深沢地域 33

- ③鎌倉地域 35

- 3-7. 鎌倉市 土砂災害ハザードマップ 37
- ①大船・玉縄地域 37
- ②腰越・深沢地域 39
- ③鎌倉地域 41
- 3-8. 高潮について 43
- 3-9. 鎌倉市 高潮ハザードマップ 44
- ①腰越・七里が浜エリア（腰越地域） 44
- ②長谷・坂ノ下・稲村が崎エリア（鎌倉地域） 45
- ③由比が浜・材木座（鎌倉地域） 46

2025年3月作成

1-1. 鎌倉市 防災情報ハンドブックの目的

この『鎌倉市防災情報ハンドブック』は、神奈川県、本市による最新の知見の災害ハザード情報意識の向上と自助・共助による防災体制の強化等に利用していただくことを目的としています。

この『鎌倉市防災情報ハンドブック』を「災害の備え」のツールとして、家庭や地域における

この『鎌倉市防災情報ハンドブック』は、土砂災害ハザードマップ(土砂災害特別警戒区域の新たに追加・更新しています。

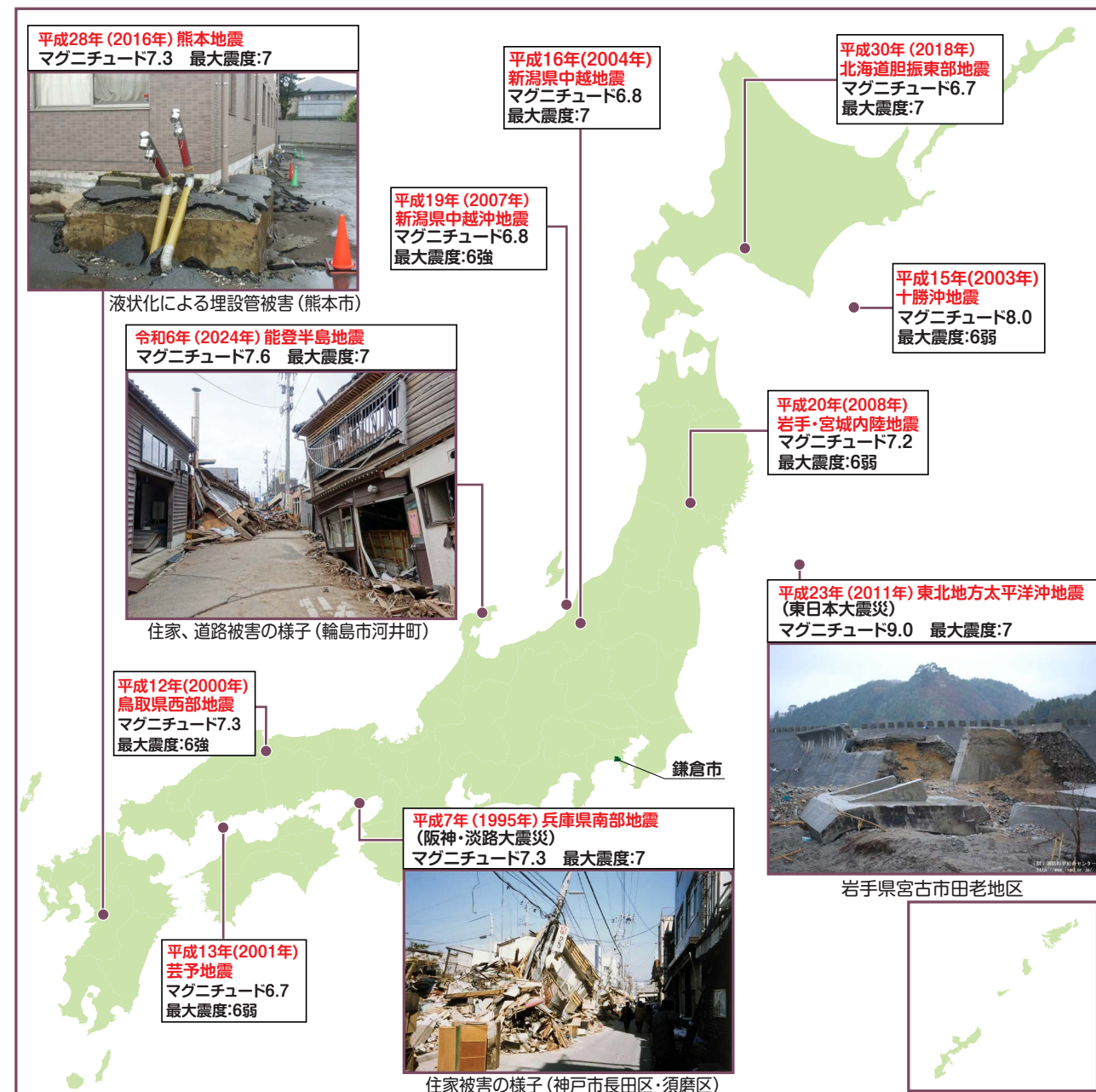
を取り込み、災害への備え、情報収集、避難行動のとり方等について掲載し、市民の皆様の防災

防災力の向上にお役立てください。

更新)、洪水ハザードマップ(市管理河川の浸水想定区域の追加)、高潮ハザードマップを

地震・津波

四半世紀前に発生した阪神・淡路大震災以降、全国各地で大きな地震が発生し、甚大な被害が発生しています。本市では、一例として「相模トラフ沿いの海溝型地震(西側モデル)」や「元禄関東地震タイプと国府津一松田断層帯地震の連動地震」などの地震の津波により、浸水被害が起こることが想定されています。



・災害写真出典: 財団法人消防科学センター ・能登半島地震写真出典: 令和6年能登半島地震アーカイブ/提供_石川県 <https://noto-archive.pref.shikawa.lg.jp/>

風水害・土砂災害

平成25年8月より「特別警報」の発表が開始されて以降、平成30年7月豪雨や令和元年東日本台風により、広範囲で「特別警報」が発表され、全国各地で甚大な被害が発生しています。台風の経路や前線の停滞などにより、本市でも大雨や高潮による被害が発生する場合があります。

本市における風水害・土砂災害の被害状況



・熱海市土石流写真出典: 内閣府 HM 令和4年版防災白書 https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r04/honbun/0b_1s_01_00.html

1-2. 災害に備える

市では市民の皆様「災害の備え」として役立てるよう当ハンドブックを含む各種ハザードマップの作成や市のホームページにて「鎌倉市防災情報マップ」を公開しています。

また、災害対策として災害時の迅速な情報提供に係る整備、各種防災訓練の実施など、様々な防災に関する取り組みを行っています。

情報収集

各情報源から入手できる情報 **気** 気象情報 **川** 河川水位情報 **土** 土砂災害情報 **避** 避難情報

テレビ ラジオ	気川土避 テレビ ケーブルテレビ(J:COM湘南・鎌倉) ラジオ 鎌倉エフエム放送(82.8MHz) ※dボタンを押すと情報を確認できます。
メール (携帯電話など)	気川土避 鎌倉市防災・安全情報メール 登録必要 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/sougoubousai/haishin0001.html 【登録方法】 左の二次元コードからサイトへアクセスし、画面の指示に従って登録を行ってください。
インターネット	気川土 鎌倉市防災情報マップ・各種ハザードマップ・タイムライン https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/sougoubousai/hazardmap.html 気川土 鎌倉市ホームページ https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/ 気川土 気象庁ホームページ http://www.jma.go.jp/jma/index.html 川 国土交通省 川の防災情報 https://www.river.go.jp/ 気土 神奈川県土砂災害情報ポータル http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/
防災 行政用無線	気避 緊急時の避難情報や気象情報、災害情報等の迅速な発信を行います。 0467-43-4119 (補完対策:消防テレホンサービス) 防災行政用無線の放送内容を電話で確認できます。

防災行政用無線について

1. 防災行政用無線システム

屋外の拡声器から一斉(同時)に防災情報等の行政情報を伝えるシステム

2. 設置数量

市内151箇所に設置(屋外)

3. 防災行政用無線の放送対象

- 大雪・大雨・台風情報等の気象警報(発表・解除)
- 避難情報
警戒レベル3(高齢者等避難)、警戒レベル4(避難指示)等
- 地震・津波情報
- 全国瞬時警報システム(J-ALERT)による自動放送
- その他(必要に応じて放送)
 - 警察からの依頼による行方不明者の捜索
 - 光化学スモッグ注意報の発表・解除など
- 子供の見守りを兼ねた夕焼け小焼けを放送(試験放送を兼ねている)
夏季4月1日～9月30日午後5時・冬季10月1日～3月31日午後4時30分



防災行政用無線屋外子局

全国瞬時警報システム(J-ALERT)について

J-ALERTとは、人工衛星から瞬時に防災行政用無線システムに送信し、人的な作業に頼らず瞬時に緊急情報を伝える「全国瞬時警報システム」の通称です。

J-ALERTは、津波をはじめとする大規模災害や、武力攻撃事態が発生した際に、国民の保護のために必要な情報を通信衛星を利用して、瞬時に地方公共団体に伝達すると共に、地域衛星通信ネットワークに接続された防災行政用無線や有線放送電話を自動起動させ、サイレンや放送によって住民へ緊急情報を伝達するシステムです。

情報の種別	
1	弾道ミサイル情報
2	航空攻撃情報
3	ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
4	大規模テロ情報
5	緊急地震速報(震度5弱～)
6	大津波警報
7	津波警報
8	気象等の特別警報

その他取り組み

1) 各種防災訓練の実施

総合防災訓練、津波避難訓練、土砂災害避難訓練、帰宅困難者対応訓練、職員参集訓練、各地区ブロック訓練など



2) 既成宅地等防災工事資金助成制度

がけ崩れによる災害を防ぐために、①災害発生のおそれがある箇所の防災工事、②がけ崩れを誘発するおそれのある樹木の伐採などの工事をする方は、市から助成を受けられる可能性があります。ご利用されたい方は要件等があるので事前にご相談ください。



3) 急傾斜地事業の相談

急傾斜地の崩壊による災害を防止するため、一定の基準に該当する場合は、法律に基づき、神奈川県が急傾斜地崩壊危険区域に指定のうえ、崩壊防止工事を行います。指定要望がある場合はご相談ください。

※「2)3)」に関する問合せ先:みどり公園課がけ地対策担当 TEL:0467-23-3000(代表)

コラム 防災活動、支援活動について

自主防災組織

大規模地震等大きな災害が起こると、広域にわたって同時に発生するため、行政だけでは対応できない状況を呈します。そこで、市民の皆さんがお互い協力しあい、救助や避難誘導等を行うことが被害拡大を防ぐうえで重要な役割を果たします。自主防災組織は「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを趣旨として活動しています。自主防災組織に参加し地域で防災活動に取り組みましょう。



避難行動要支援者への支援

災害が発生した際、高齢の方や障害のある方などの避難について可能な範囲での避難支援をするため、市では支援を必要とする方たちを対象とした「避難行動要支援者名簿」を作成しています。

発災時における避難行動要支援者名簿の活用

- 避難のための情報伝達
- 避難行動要支援者の避難支援
- 避難行動要支援者の安否確認の実施

1-3. 鎌倉市の避難施設①

広域避難場所（大火災が発生した場合に避難する空き地）



地震時などで大火災が発生し、その熱や煙で生命に危険が及ぶときに避難する場所。

名 称	所在地	対象地域（目安）
鎌倉霊園	十二所 512	十二所、浄明寺1丁目～6丁目、二階堂
鶴岡八幡宮	雪ノ下 2-1-31	西御門1丁目・2丁目、雪ノ下1丁目～5丁目・雪ノ下、小町2丁目13～23番・3丁目、大町1丁目6～20番、大町3丁目～7丁目
横浜国立大学教育学部附属鎌倉小・中学校	雪ノ下 3-5-10	
源氏山公園 葛原岡神社	梶原 5-1439	扇ガ谷1丁目～4丁目、小町1丁目・小町2丁目1～12番、大町1丁目1～5番・2丁目、材木座1丁目～6丁目、由比ガ浜1丁目・2丁目・3丁目1～4番、御成町、佐助1丁目・2丁目、長谷3丁目～5丁目、梶原5丁目6～17番、山ノ内1155・1157・1157-5～11
御成中学校	笹目町 2-1	由比ガ浜3丁目5～12番・4丁目、笹目町、長谷1丁目・2丁目
七里ヶ浜ゴルフ場	七里ガ浜東 1-2-18	坂ノ下、極楽寺1丁目～4丁目、稲村ガ崎1丁目～5丁目、七里ガ浜東1丁目～5丁目
県立鎌倉高等学校	七里ガ浜 2-21-1	腰越1丁目～5丁目、腰越及び津の一部（県道腰越大船線以東と市道大船西鎌倉線以南及び以東とし、その内の猫池分譲地を除く）、津西1丁目・2丁目、七里ガ浜1丁目・2丁目
東し基礎研究センター	手広 6-10-1	西鎌倉1丁目～4丁目、腰越及び津の一部（県道腰越大船線以東及び市道大船西鎌倉線以北）手広、笛田1丁目1～14番・2丁目1・4番
深沢中学校	梶原 1-14-1	上町屋773・775・778・794（市道055-000線以東）、梶原一丁目、梶原二丁目2～5番・7～11番20・21・24番、寺分一丁目、寺分三丁目7～23番、梶原、常盤の一部（市道055-000線以西）
笛田公園	笛田 3-1310	腰越及び津の内の猫池分譲地、笛田2丁目2・3・5～39番、笛田3丁目～6丁目、鎌倉山1丁目～4丁目、常盤の一部（市道大船西鎌倉線以東）
北鎌倉女子学園グラウンド	山崎 2578	山ノ内の一部（その内の197～256及び1155・1157・1157-5～11を除く）、台の一部（その内の1140・1143・1146・1155を除く）、小袋谷2丁目21・23番、台5丁目11～13番
富士塚小学校	上町屋 810	寺分の一部（その内の市営深沢住宅以南を除く）、山崎の一部（市道055-000線以西及び山崎保育園北の水道路以南で、県道腰越大船線以南と以東）、上町屋の一部（県道腰越大船線以東及び市道055-000線以西）、寺分436・2・448（市営深沢住宅以南）
玉縄中学校	岡本 1100	山崎の一部（山崎保育園北の水道路以北及び県道腰越大船線以北と以西）、小袋谷1丁目3番、岡本2丁目13～21番・岡本、玉縄1丁目13～16・3丁目715～728、植木の一部（県道小袋谷藤沢線以南）
大船フラワーセンター	岡本 1018	
清泉女学院	城廻 200	植木の一部（県道小袋谷藤沢線以北）、城廻
栄光学園	玉縄 4-1-1	小袋谷1丁目1・2・4～9番、大船1丁目・2丁目1～19番・3丁目、岡本1丁目・2丁目1～12番、玉縄一丁目1～12・860・2丁目、3丁目1～710・4・5丁目、関谷
鎌倉カントリークラブ	今泉 5-1026	小袋谷2丁目1～20・22・23番、大船4丁目、小袋谷、大船、高野、岩瀬、今泉1丁目～5丁目、今泉台1丁目～7丁目、山ノ内197～256番
鎌倉中央公園	山崎 1667	梶原2丁目1・6・12～19・23・25～34番、梶原3丁目・4丁目・5丁目1～5番、寺分2丁目・3丁目1～6・24～31番、山崎の一部（779・907・913及び市道大船西鎌倉線以東）、台1140・1143・1146・1155、台1丁目～4丁目・5丁目1～10番、小袋谷2丁目22番
鎌倉女子大学 大船キャンパス	大船 6-1-3	岩瀬1丁目、大船2丁目20～26番、大船5・6丁目

指定避難所（三二防災拠点）



災害が発生するおそれがある場合に
【拠点】 開設する施設で食料や防災資機材の
備蓄がある避難所。

地域	名 称	所在地
鎌倉	第一小学校	由比ガ浜 2-9-55
	第二小学校	二階堂 878
	御成小学校	御成町 19-1
	稲村ヶ崎小学校	極楽寺 3-2-3
	第一中学校	材木座 6-19-19
	第二中学校	西御門 1-7-1
腰越	腰越小学校	腰越 5-7-1
	西鎌倉小学校	津 1069
	七里ガ浜小学校	七里ガ浜東 5-3-2
深沢	腰越中学校	腰越 4-11-20
	深沢小学校	梶原 1-11-1
	富士塚小学校	上町屋 810
	山崎小学校	山崎 2500
	深沢中学校	梶原 1-14-1
大船	手広中学校	手広 5-7-1
	小坂小学校	小袋谷 587
	大船小学校	大船 2-8-1
	今泉小学校	今泉 2-13-1
	大船中学校	大船 4-1-25
玉縄	岩瀬中学校	岩瀬 840
	玉縄小学校	玉縄 1-860
	関谷小学校	関谷 468-1
	植木小学校	植木 1
	玉縄中学校	岡本 1100

※風水害時は災害の規模や被害状況等により、行政センター等の公共施設等を避難場所として開設する場合があります。

補助避難所（予備避難所）



避難所の開設に続き、災害状況に応じて
必要な場合に開設する避難所。

地域	名 称	所在地
鎌倉	横浜国立大学教育学部附属鎌倉小・中学校	雪ノ下 3-5-10
	清泉小学校	雪ノ下 3-11-45
	鎌倉女学院中学校・高等学校	由比ガ浜 2-10-4
	鎌倉霊園	十二所 512
腰越	県立七里ガ浜高等学校	七里ガ浜東 2-3-1
	県立鎌倉高等学校	七里ガ浜 2-21-1
深沢	県立深沢高等学校	手広 6-4-1
大船	鎌倉学園	山ノ内 110
	鎌倉女子大学岩瀬キャンパス	岩瀬 1420
	県立大船高等学校	高野 8-1
玉縄	栄光学園	玉縄 4-1-1

一時滞在施設（帰宅困難者用）

災害等により外出先から帰宅が困難になった人が
一時滞在できる施設で状況に応じて開設。

地域	名 称	所在地
鎌倉	長谷寺	長谷 3-11-2
	鶴岡八幡宮	雪ノ下 2-1-31
	鎌倉生涯学習センター	小町 1-10-5
	鎌倉宮	二階堂 154
	安国論寺	大町 4-4-18
深沢	鎌倉武道館	山崎 616-6
大船	建長寺	山ノ内 8
	円覚寺	山ノ内 409
	鎌倉芸術館	大船 6-1-2

福祉避難所



避難所で共同生活が困難な要配慮者が避難する
施設で状況に応じて開設する避難所。

地域	名 称	所在地
鎌倉	名越やすらぎセンター	材木座 2-15-3
腰越	腰越なごやかセンター	津西 1-7-7
深沢	教養センター	笛田 2-17-1
大船	今泉さわやかセンター	今泉 3-21-23
玉縄	県立鎌倉養護学校	関谷 566
	玉縄すこやかセンター	玉縄 5-9-1

1-3. 鎌倉市の避難施設②

津波来襲時緊急避難建築物

津波の発生が予想された場合、一時的に避難する避難施設。

地域	名 称	所在地
材木座	医療法人社団芳洋会 在宅型有料老人ホームあっとほーむ鎌倉	材木座 1-5-4
	鎌倉ヒロ病院（新館）	材木座 1-7-22
	鎌倉パンビル	材木座 3-5-16
	ピラ・かまくら	材木座 6-8-7
由比ガ浜	鎌倉消防署	由比ガ浜 4-1-10
	鎌倉わかみや	由比ガ浜 4-6-13
	第一小学校	由比ガ浜 2-9-55
	鎌倉女学院中学校・高等学校	由比ガ浜 2-10-4
	由比ガ浜コーポ1号	由比ガ浜 2-24-2
	由比ガ浜コーポ2号	由比ガ浜 2-24-2
	ハビネス由比ガ浜	由比ガ浜 1-1-13
	ダイヤモンド鎌倉別邸ソサエティ	由比ガ浜 3-12-25
	ザ・パークハウス鎌倉若宮大路	由比ガ浜 2-23-28
	由比ガ浜こどもセンター	由比ガ浜 3-11-48
	NTT東日本鎌倉ビル	由比ガ浜 2-11-18
	ウエリス鎌倉由比ヶ浜	由比ガ浜 4-6-46
小 町 御成町	早見芸術学園1号館	小町 1-2-16
	鎌陽洞ビル	御成町 11-29
	鎌倉彫会館	小町 2-15-13
	KNビル	御成町 11-40
	カドキホール	御成町 3-5
	櫻井ビル	小町 2-1-5
長 谷 坂ノ下	かまくら春秋スクエア	小町 2-14-7
	サイトウビル	長谷 2-16-15
	軽費老人ホームきしろホーム	坂ノ下 31-5
	鎌倉パークホテル	坂ノ下 33-6
	介護老人福祉施設鎌倉清和由比	坂ノ下 33-3

地域	名 称	所在地
腰 越	江ノ島ビーチハウス	腰越 3-11-6
	腰越中央医院	腰越 4-8-29
	鎌倉消防署腰越出張所	腰越 4-9-12

津波来襲時緊急避難空地

津波の発生が予想された場合、一時的に避難する屋外避難場所。

地域	名 称	所在地
大 町 材木座	妙本寺	大町 1-15-1
	来迎寺	材木座 2-9-19
	光明寺	材木座 6-17-19
	長勝寺	材木座 2-12-17
	実相寺	材木座 4-3-13
	第一中学校	材木座 6-19-19
	名越クリーンセンター	大町 5-11-16
	紅谷旧市営住宅跡	材木座 4-14-6
	御成小学校	御成町 19-1
	御成中学校	笹目町 2-1
長 谷 坂ノ下	光則寺	長谷 3-9-7
	高德院（大仏）	長谷 4-2-28
	長谷寺	長谷 3-11-2
	御霊神社	坂ノ下 4-9
	鎌倉文学館	長谷 1-5-3
七里ガ浜	稲村ガ崎 鎌倉海浜公園（稲村ガ崎地区）	稲村ガ崎 1-19
	七里ヶ浜ゴルフ場	七里ガ浜東 1-2-18
	県立鎌倉高等学校	七里ガ浜 2-21-1
腰 越 津	県立七里ガ浜高等学校	七里ガ浜東 2-3-1
	小動神社	腰越 2-9-12
	モンタナ修道院	津 550
	腰越小学校	腰越 5-7-1

防災関連機関一覧

機関	名 称	所在地	機関	名 称	所在地	機関	名 称	所在地
警察署・ 交番・ 駐在所	鎌倉警察署	由比ガ浜 2-11-26	警察署・ 交番・ 駐在所	深沢交番	笛田 1-4-45	消防署・ 消防出張所	鎌倉消防署 七里ガ浜出張所	七里ガ浜東 1-2-5
	浄明寺駐在所	二階堂 912-22		梶原口交番	常盤 345-6		大船消防署	大船 3-5-10
	稲村ガ崎駐在所	稲村ガ崎 3-4-9		大船警察署	大船 1709-2		大船消防署 玉縄出張所	玉縄 2-5-2
	名越交番	大町 4-4-5		今泉駐在所	今泉台 1-14-2		大船消防署 今泉出張所	今泉 2-4-25
	長谷交番	長谷 1-8-9		大船駅前交番	大船 1-9-4		鎌倉ヒロ病院	材木座 1-7-22
	御成交番	御成町 18-23		台交番	台 3-2-5		清川病院	小町 2-13-7
	鎌倉駅前交番	小町 1-2-1	消防署・ 消防出張所	山ノ内交番	山ノ内 1345		湘南記念病院	笛田 2-2-60
	滑川交番	由比ガ浜 4-1-1		玉縄交番	玉縄 1-2-17		大船中央病院	大船 6-2-24
	津駐在所	津 691-2		鎌倉市消防本部	大船 3-5-10		鎌倉病院	長谷 3-1-8
	西鎌倉駐在所	西鎌倉 1-18-1		鎌倉消防署	由比ガ浜 4-1-10		鈴木病院	腰越 1-1-1
	七里ガ浜駐在所	七里ガ浜東 1-2-1		鎌倉消防署 腰越出張所	腰越 4-9-12		湘南鎌倉総合病院	岡本 1370-1
	腰越交番	腰越 3-2-18		鎌倉消防署 深沢出張所	手広 1-16-12		ふれあい鎌倉ホスピタル	御成町 9-5
	鎌倉山駐在所	鎌倉山 2-15-12		鎌倉消防署 浄明寺出張所	浄明寺 6-2-7			

1-4. 災害時の避難について

①災害時の避難について

- ・事前にハザードマップなどで自宅周辺のリスクをご確認いただき、避難の必要がある場合は避難所へ避難してください。自宅での安全確保が可能な場合は避難所に行く必要はありません。
- ・自宅が危険な場合も、避難先は市指定の避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えておきましょう。
- ・避難所では、限られた空間の中で、たくさんの方々が生活していきます。避難所におけるルールを守り、より良い環境を保ちましょう。

②避難所生活について

- ・必要最低限の非常持出品を持って避難しましょう
避難所には食糧や防災資機材の備蓄はされていますが、備蓄には限りがあるので、必要最低限の非常持出品を持って避難しましょう。

☐ 1. 懐中電灯・LEDライト

☐ 2. 軍手

☐ 3. ラジオ

☐ 4. 電池

☐ 5. 現金

☐ 6. 非常食・飲料水

☐ 7. 医薬品

☐ 8.ライター

☐ 9. ティッシュ・タオル

☐ 10. 防寒着

☐ 11. スニーカー・スリッパ

☐ 12. マスク

☐ 13. 手指消毒アルコール

☐ 14. 石鹸

☐ 15. ウェットティッシュ

☐ 16. 体温計

- ・エコノミークラス症候群を予防するために、適度な運動と水分補給をしましょう。
- ・熱中症予防のため、水分補給、衣服の工夫をしましょう。
- ・災害時には、特に避難所で感染症拡大のリスクが高まります。感染症に「自分がかからない」ように手洗いを、かかっても「他人にうつさない」ために咳エチケットなどを行いましょう。

手洗いで感染症予防

手指消毒薬

流水で手洗いができない場合には、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。

画像出典：厚生労働省（<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/kehatsu.htm>）

手指消毒の手順

出典：「日本環境感染学会教育ツールVer.3.1より引用」

1

消毒薬約3mLを手のひらに取ります（ポンプを1回押すと約3mLです）。

2

初めに両手の指先に消毒薬をすりこみます。

3

次に手のひらをよくすりこみます。

4

手の甲にもすりこみます。

5

指の関節にもすりこみます。

6

親指にもすりこみます。

7

手首も忘れずにすりこみます。乾燥するまでよくすりこみます。

指先から消毒するのがポイントです。

とくに食事前や調理前、トイレ使用後には手洗いを！

NIID 国立感染症研究所
NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES

画像出典：政府インターネットTV（<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg7362.html?l=46&a=1>）

咳エチケットで感染症予防

咳エチケットとは
咳やくしゃみが出たときに周りの人へ病気をうつさないためのマナーです。

マスクがない場合には？

①咳やくしゃみの際はティッシュで口と鼻をおおきましょう。

②ティッシュ等がない場合には、**二の腕**で口と鼻をおおきましょう。

NIID 国立感染症研究所
NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES

画像出典：政府広報（http://www.gov-online.go.jp/useful/article/200909/img/06_04.gif）

マスクがある場合には、正しくマスクを着用しましょう。

正しいマスクの着用

NIID 国立感染症研究所
NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES

画像出典：政府広報（http://www.gov-online.go.jp/useful/article/200909/img/06_04.gif）

※出典：NIID 国立感染症研究所

7

8



1-5. わが家の避難行動 (マイ・タイムライン)

ハザードマップを確認しながら、空白部分に必要事項を記入・コピーして家族で共有しましょう。

地震・津波	自宅は津波浸水想定区域内にあるか ☐ ある ☐ ない 揺れやすさは 色 液状化危険度は 色
	津波浸水想定区域の場合は 避難するタイミング、避難する場所 (実際に避難するときどこへ避難するのか、危険を感じたらどこへ逃げるのか考えてみましょう。)
	地震発生後、揺れがおさまったら、わが家は、津波警報・大津波警報を待たずに 海拔: m (津波来襲時緊急避難建築物 (空地) もしくは高台等) へ避難します。移動時間:
	家が被災し、生活が困難な場合は、 (避難所等) へ避難します。

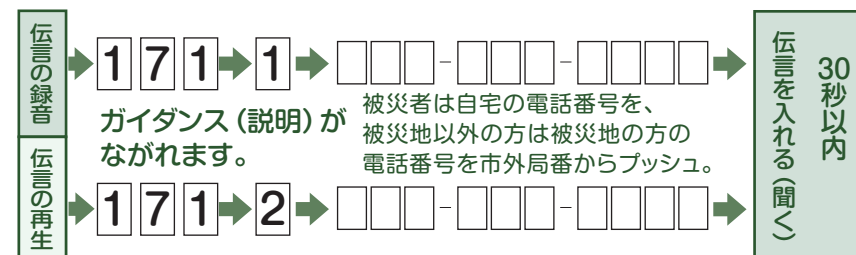
風水害・土砂災害	自宅は洪水浸水想定区域内にあるか ☐ ある ☐ ない 自宅は洪水による家屋流失のおそれのある区域内にあるか ☐ ある ☐ ない
	自宅は内水氾濫浸水想定区域内にあるか ☐ ある ☐ ない 内水氾濫浸水深は: m
	自宅は土砂災害警戒区域内 (急傾斜地、土石流) にあるか ☐ ある ☐ ない
	自宅は高潮浸水想定区域内にあるか ☐ ある ☐ ない 自宅は高潮による家屋倒壊等氾濫想定区域内 ☐ ある (氾濫流、越波) ☐ ない
	風水害に関する情報を収集し、危険を感じたり、避難情報を入手したらわが家は、 ☐ 自宅に待機し、状況に応じて垂直避難します。(※むやみに外出せず、情報収集に努める) ☐ (避難所、親戚・知人宅など) へ水平避難します。移動時間:
	水平避難の途中で危険を感じたら、 へ緊急的に垂直避難します。移動時間:
家が被災し、生活が困難な場合は、 (避難所等) へ避難します。	

わが家の緊急連絡先

名 前	緊急連絡先	名 前	緊急連絡先

災害用伝言ダイヤル

災害時に NTT から提供される「声の伝言板」です。



インターネットでも登録・確認できます。

災害用伝言板 (web171)

<https://www.web171.jp>

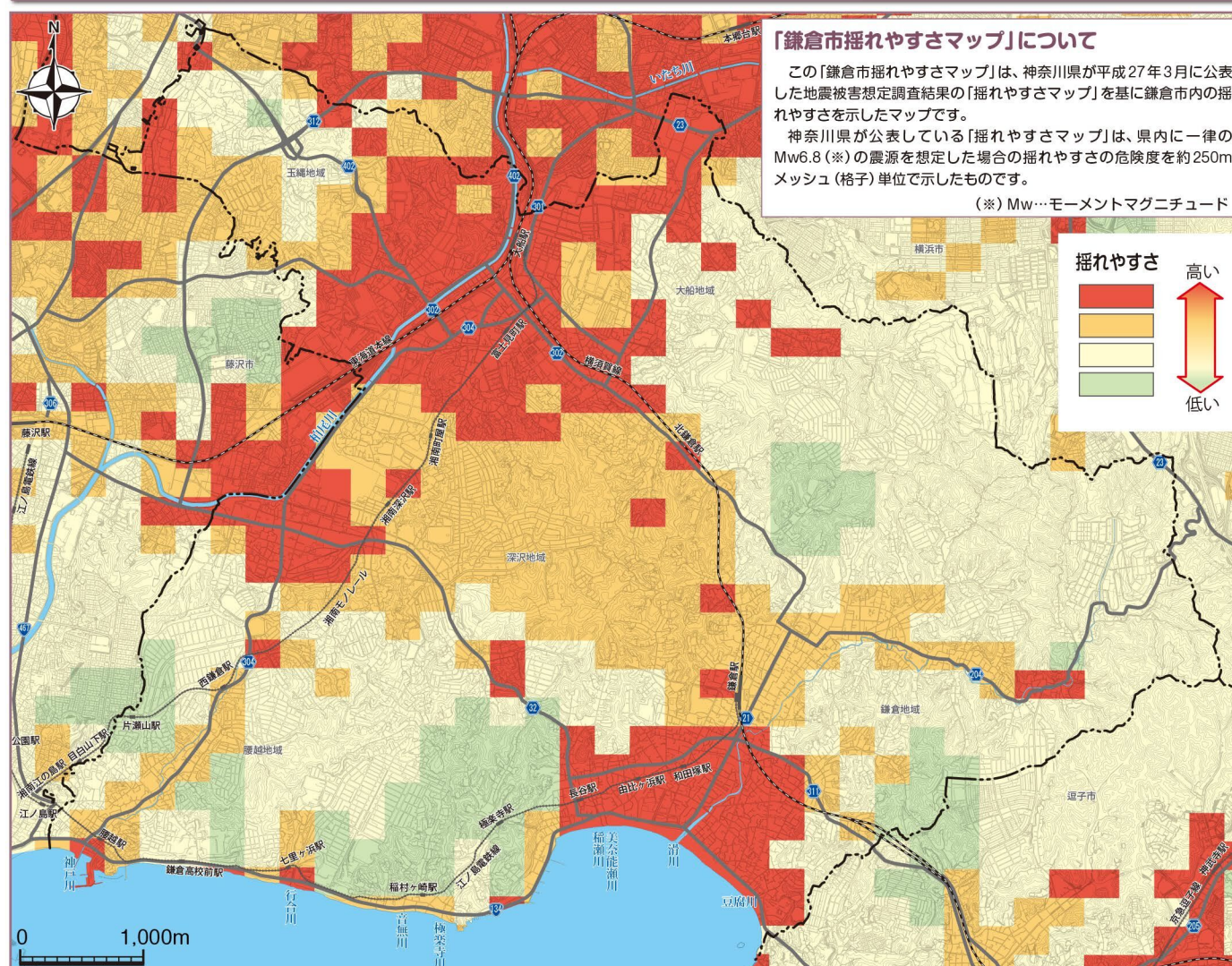
にアクセスしてください。

2-1. 鎌倉近世近代歴史地震年表

「元禄地震」から「大正関東地震」まで

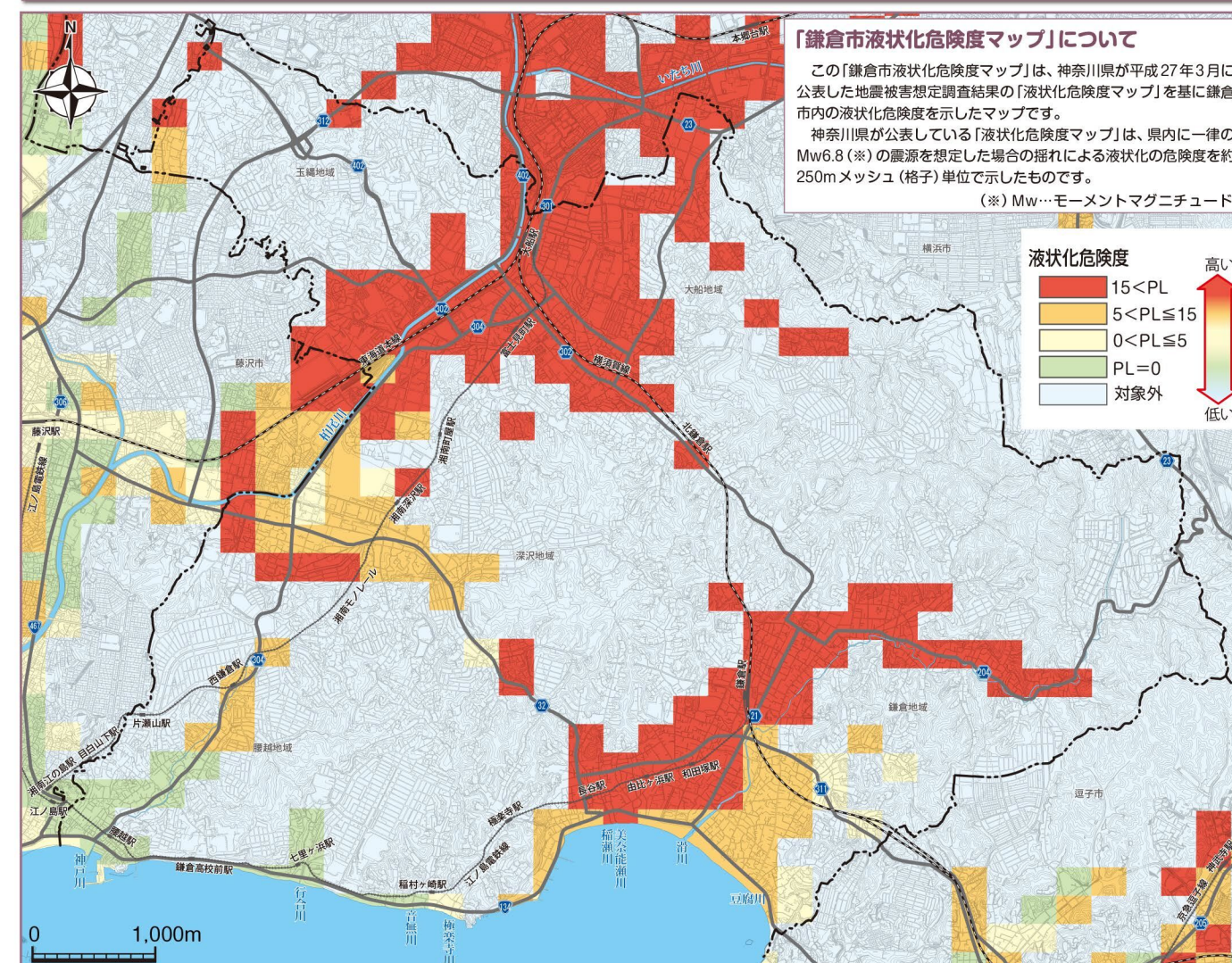
西 暦	年・月・日	被災 地	被害の概要
1697	元禄 10.10.12 (江戸時代)	武蔵・相模 (鎌倉)	鎌倉が最も激甚であったという。鶴岡八幡宮で堂社と鳥居が倒れたほか、寺社や市中の民家に被害が出たことが記録に見える。
1703	同 16.11.22 (江戸時代)	武蔵・相模・安房・上総 (鎌倉)	【元禄地震】江戸・小田原・鎌倉が激甚といい、とくに津波で伊豆方面や房総半島外房のほか、相模沿岸部が被災した。鎌倉では、「切通七口」等通行路が各所で崩落し、町屋や小坪道・江の島・六浦道が破損。寺社では鶴岡八幡宮・建長寺・円覚寺・東慶寺・明月院・浄智寺などに大きな被害が出たという。津波は「二の鳥居」まで浸水して光明寺ほか海浜部に被害を及ぼし、当時材木座にあった「荒居閻魔堂」(円応寺)を壊滅させた。
1707	宝永 4.10. 4 (江戸時代) 同 4.11.23	関西・東南海 (小田原) 武蔵・相模 (鎌倉)	【宝永地震】駿河・三河・遠江・紀伊・摂津の諸国の被害が甚しく、津波が伊豆半島から九州沿岸、瀬戸内海に及んだと伝える。小田原にも被害があったというが、詳細は不明。関東は比較的軽微であったようである。 【宝永富士山噴火】武蔵・相模・駿河の三国では、降灰や降砂のため河川や田畑に大きな被害があったという。
1853	嘉永 6. 2. 2 (江戸時代)	相模 (鎌倉)	【嘉永小田原地震】小田原城の天守閣で瓦と壁が落ちたという。小田原領で壊家約1,000 棟、死者24 人で、鎌倉の各所にも被害の記録がある。
1854	安政 1.11. 4 (江戸時代)	東海・東山・南海諸道 (鎌倉)	【安政東海地震】被害は沼津から伊勢に至る沿岸と、甲斐・信濃・近江・越前・加賀に及び、津波が房総から土佐までの沿岸部を襲ったため、さらに拡大したという。倒壊・焼失約30,000 棟、死者は2 ~ 3,000 人。三浦郡浦賀湊・同大津三崎・同大田和村・金沢・鎌倉・江の島・藤沢などに地震及び津波被害の記録がある。
1854	同 1.11. 5 (江戸時代)	畿内・東海・東山・北陸・南海・山陽道 (鎌倉)	【安政南海地震】前の地震の30 数時間後に発生。被害は近畿・中国・四国全部と九州・中部地方の一部に及んだという。津波は串本 (和歌山県) で最大約15mの推定高があり、死者は全体で数千人であった。三浦郡大田和村で再度津波浸水の記録があることから、相模沿岸部は二日にわたって津波を受けたと考えられる。
1855	同 2.10. 2 (江戸時代)	江戸・相模 (鎌倉)	【安政江戸地震】震源地は江戸のほぼ直下と推定され、同所町方の被害は壊家及び焼失家屋約14,000 棟、死者約7,000 人に達したとされる。相模では一宮のほか厚木と藤沢にかなりの損害があり、三浦郡では上宮田の陣屋に被害があり、ここで6名の死者と多くの負傷者があったという。鎌倉の常盤村で民家一軒全潰か。なお、津波の有無については定かでない。
1880	明治 13. 2.22	東京・神奈川	横浜で多くの煙突が破損し、民家の壁が崩れたという。東京の被害は軽微であった。
1894	同 27. 6.20	東京・神奈川 (鎌倉)	【明治東京地震】東京・川崎・横浜で死者31 人、負傷者157 人との記録がある。東京・横浜が激甚で、鎌倉にも被害があったというが、詳細は不明である。
1909	同 42. 3.13	千葉・神奈川	横浜の被害が激しく、煉瓦壁や煙突が崩れたという。
1923	大正 12. 9. 1	関東一帯 (鎌倉)	【大正関東地震】東京都・神奈川県・千葉県・茨城県のほか静岡県東部にまで甚大な被害を及ぼした。鎌倉と横浜が激甚といい各所で地割れを生じ、建物の倒壊や火災の発生・広範囲にわたる延焼があった。また、津波が相模湾沿岸に襲来し、鎌倉では材木座や坂ノ下などが広く浸水した。被害は全体で約105,000 人が死亡あるいは行方不明になったとされる。神奈川県の被害は、死者約29,000 人、行方不明約2,000 人、負傷者約19,000 人、家屋全壊約47,000 棟、全焼約69,000 棟、流失約400 棟などである。
1924	同 13. 1.15	東京・神奈川・山梨 (鎌倉)	【丹沢地震】神奈川県西部で発生。大正関東地震後の最大の余震か。死者19 人、負傷者638 人で、損失家屋は住家全壊約1,200 棟、ほかに倉庫や納屋などの全壊は約6,000 棟等であったという。鎌倉でも建物などに被害あり。

2-2. 鎌倉市 揺れやすさマップ



横浜市建築局横浜市都市計画基本図データ(地図情報レベル 2500)により作成
この地図の作成に当たっては、藤沢市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した
この地図の作成に当たっては、逗子市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した

2-3. 鎌倉市 液状化危険度マップ



横浜市建築局横浜市都市計画基本図データ(地図情報レベル 2500)により作成
この地図の作成に当たっては、藤沢市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した
この地図の作成に当たっては、逗子市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した

揺れ方の目安

震度 4 ● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯等のつり下げ物は大きく揺れる。 ● 座りの悪い置物が、倒れることがある。	震度 5弱 ● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ● 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度 5強 ● 物につかまらなさと歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や本は落ちるものが増える。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度 6弱 ● 立っていることが困難になる。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 耐震性が低い 耐震性が高い	震度 6強 ● はわなないと動くことができない。 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。 耐震性が低い 耐震性が高い	震度 7 ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが増える。 耐震性が低い 耐震性が高い

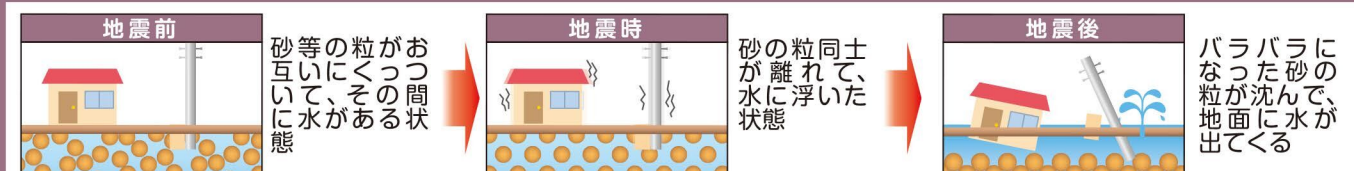
気象庁 震度階級関連解説表より作成

液状化とは

地下水位の高い砂地盤などで地震による振動で地下水の圧力が高くなり、砂の粒の結びつきがバラバラになって地下水に浮いたような状態になることです。

液状化の予測は、地震動予測結果及び液状化の可能性のある微地形を抽出してFL法及び深度方向に積分したPL法により行えます。

液状化の流れ



この液状化危険度マップは、神奈川県公表のPL値(※)による液状化危険度の判定基準に合わせて作成されています。

(※) 地盤の液状化の激しさの程度を総合的に表す指数

液状化危険度の判定区分

液状化危険度	高い				低い
PL値による液状化危険度判定	15<PL	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0	対象外
	液状化危険度が極めて高い。液状化に関する詳細な調査と液状化対策は不可避。	液状化危険度が高い。重要な構造物に対してはより詳細な調査が必要。液状化対策が一般に必要。	液状化危険度は低い。特に重要な構造物に対してより詳細な調査が必要。	液状化危険度はかなり低い。液状化に関する詳細な調査は不要。	山地、丘陵、河道など、液状化危険度判定の対象とならない地形。

2-4. 地震時取るべき行動

津波発生のおそれがある時の行動

Point 1 グラッときたら身の安全を確保！

緊急地震速報の発表や長い揺れ、強い揺れを感じたら

自分がいる場所に依じて

「揺れから身を守る！」



※緊急地震速報とは、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時間や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる情報です。テレビ・ラジオ・携帯電話・スマートフォン・防災行政無線（震度による）などでお知らせします。



Point 2 長い揺れ、強い揺れがおさまったら高台へ避難！

津波警報などの発表を待たず、とにかく避難!!

住まい、職場、学校、外出先などに津波の危険がある場合

「すぐ逃げましょう！」



長い揺れ、強い揺れがおさまったら、すぐに高台へ避難！

とにかく走って、戻らない！

少しでも高いところへ！



行動指針

① 強い揺れを感じたら…

身を守る行動を！

部屋の中では



丈夫なテーブルや机の下にかくれる

外では



ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線等に注意しましょう。



長い揺れ、
強い揺れの後には
必ず津波が来る！

津波で浸水する
おそれがある場所では

津波で浸水する
おそれがない場所では

行動指針

② 揺れがおさまったら

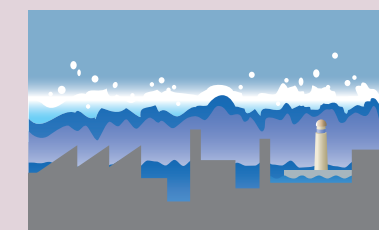
高い所へ避難！

津波警報などの
発表を待たず、
身一つで逃げる！



③ 戻らない！

津波は繰り返し襲ってきます！



津波警報などが解除されるまで
沿岸部側には絶対戻らない！

② 揺れがおさまったら

落ち着いて行動！

- ガスの元栓を閉じる
- 停電時に避難するときはブレーカーを落とす
- 外に出るときは周囲の状況の安全確認を行う
- ラジオや緊急速報メールなどから災害の情報を入手する
- 非常持出品を準備する



③ 二次災害へ備える！

命の危険は地震発生直後だけとは限らない！



地震火災
地震火災や土砂災害などの



土砂災害

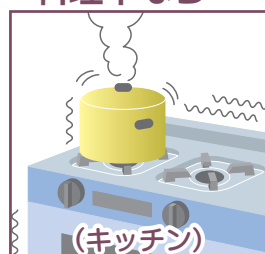
二次災害や余震に備える！

地震発生時の行動



家の中では

料理中なら…



(キッチン)
揺れが落ち着いたら火を消しましょう。

寝ていたら…



(寝室)
布団や枕で頭を守り、家具が倒れてこないところに身を伏せましょう。

入浴中なら…



(お風呂)
ドアや窓を開けて出口を確保しましょう。

TVを見ていたら…



(リビング)
重い家具の近く、電灯の真下などから離れましょう。

家の外では

店内などで
買い物中なら…



買い物カゴや鞆で頭を守り、店員の指示に従いましょう。

車の運転中なら…



道路の左に寄せて止め、ドアはロックせずにキーを差したまま避難しましょう。

電車に
乗っていたら…



吊革や手すりにつかまり、体が放り出されないようにしましょう。

仕事・授業中なら…



本棚やロッカーが倒れたり、窓ガラスが割れたりするので机の下などに入り身を守りましょう。

ビル街を
歩いていたら…



ガラスの破片、看板などが落ちてくる可能性があるため、建物からは離れましょう。

住宅地を
歩いていたら…



倒れてくる可能性があるため、ブロック塀や門柱などから離れましょう。

エレベーターの
中にいたら…



すべての階のボタンを押し、動かないなら非常用連絡ボタンを押しましょう。

地下街にいたら…



停電の場合は、誘導灯を確認し、地下街係員の指示に従って避難しましょう。

揺れがおさまってから

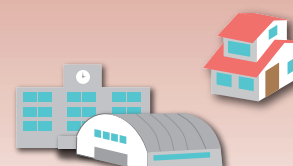
地震発生

1分～5分
身の周りの
安全確保

5分～10分
家族の安全確認
避難準備

10分～数時間
地域の安全確認

避難生活



緊急地震速報! グラッときたら身の安全を確保!



落ちついて火の元を確認し、出火していたら初期消火しましょう。



窓や戸を開け出口を確保しましょう。

避難指示の確認
・自主避難



家族の安否確認を行いましょう。



外出前にブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難しましょう。

集合場所へ
参集

火災のおそれがある時は



隣近所の安否確認を行いましょう。



火災の延焼を防ぐため、初期消火を行いましょう。

広域避難場所へ



避難途中、門や塀には近寄らないようにしましょう。



地域ぐるみで協力し合って救出、救護を行いましょう。

自宅で生活が不可能

自宅で生活が可能

避難所へ



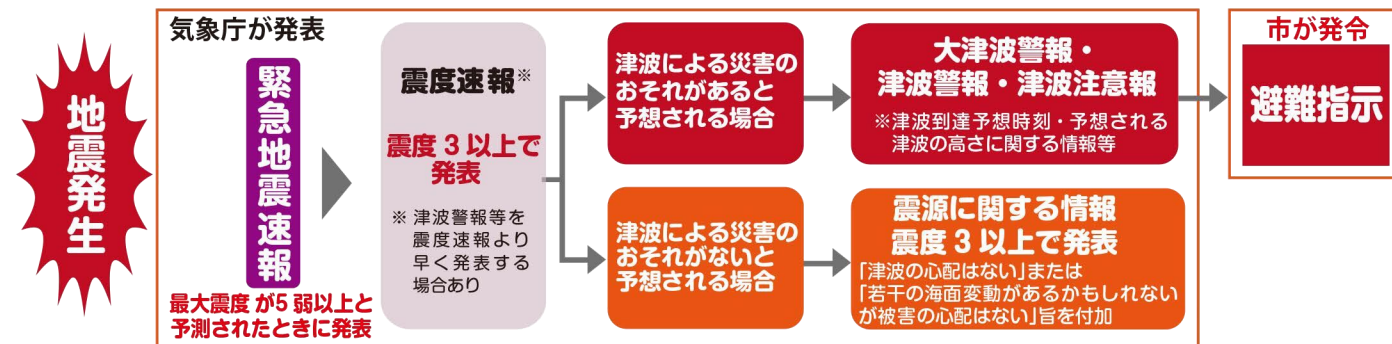
自宅へ



2-5. 地震・津波時の情報

地震及び津波に関する情報

地震が発生した場合、気象庁より約1分半後を目安に震度速報が発表されます。また、津波による災害の発生が予想される場合には、約3分後を目安に津波警報などが発表されます。



津波警報

気象庁は、地震が発生したときには地震の規模や位置をすばやく推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分（一部の地震については約2分）を目標に、大津波警報（特別警報）、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

種類	予想される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表（高さ予想）	巨大地震の場合の表現		
(特別警報) 大津波警報	10m 超 (10m~)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。	津波浸水想定区域内や、海岸・河川の近くに人は、直ちに近くの津波来襲時緊急避難建築物（空地）や高台等に避難
	10m (5m~10m)			
	5m (3m~5m)			
津波警報	3m (1m~3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。（内閣府データ：木造家屋は2mの浸水で全壊）	津波来襲時緊急避難建築物
津波注意報	1m (20cm~1m)	表記しない	海の中では人は早い流れに巻き込まれ、養殖いかだが流失、小型船舶が転覆します。	津波来襲時緊急避難空地

コラム 南海トラフと地震に関連する情報.....

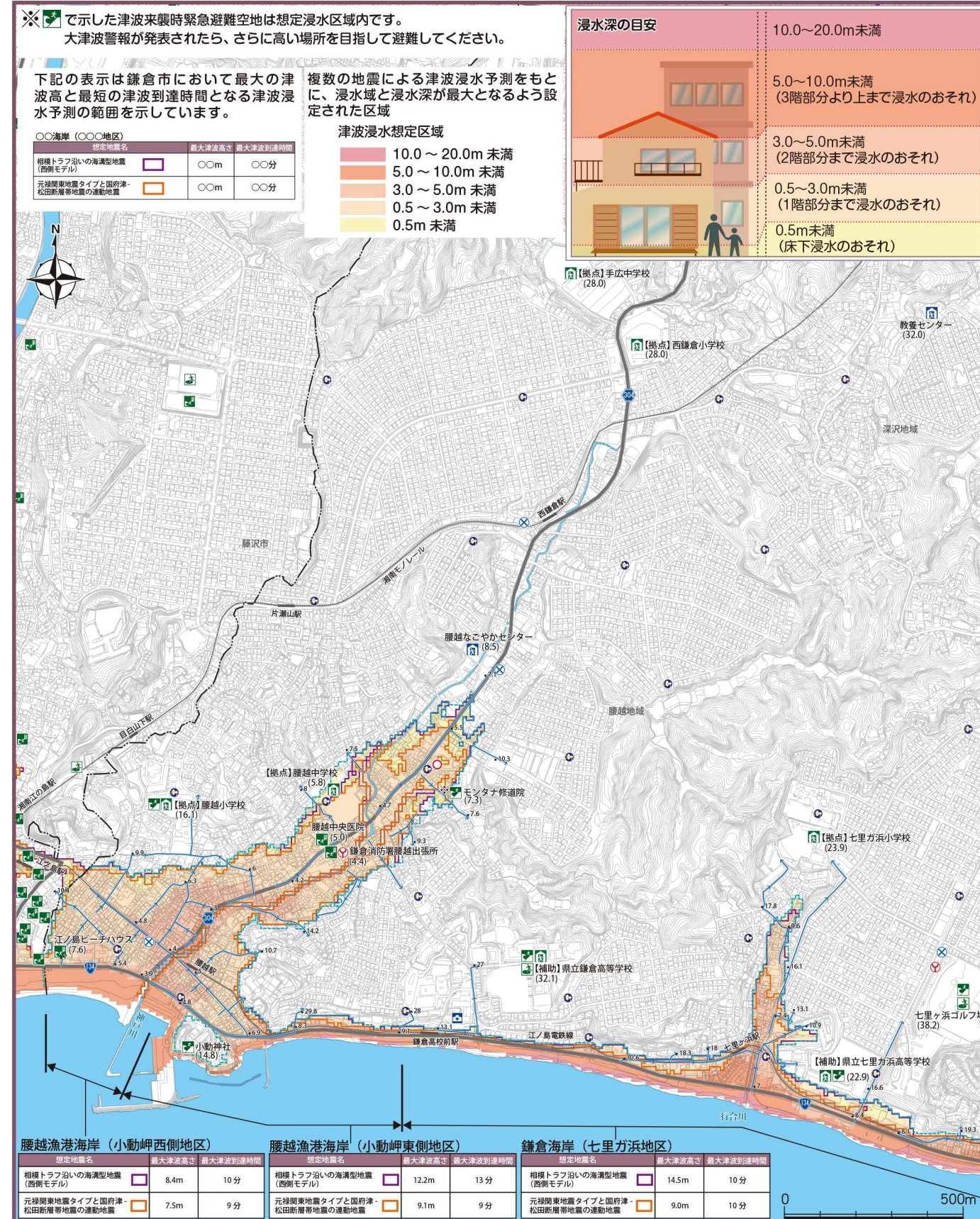
気象庁が発表する「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、この情報の種類と発表条件は以下のとおりです。

情 報	
南海トラフ地震臨時情報	南海トラフ地震臨時情報とは、南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合、観測された異常な現象の調査結果を発表する場合に、情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表します。
	(調査中) ●観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	(巨大地震警戒) ●想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価した場合
	(巨大地震注意) ●監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く）
	●想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合
南海トラフ地震関連解説情報	(調査終了) ●(巨大地震警戒)、(巨大地震注意)のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合
	●観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 ●「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く） ※すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります

2-6. 鎌倉市 津波ハザードマップ①

腰越・七里ガ浜エリア（腰越地域）

津波来襲時緊急避難空地	補助避難所（予備避難所）	消防署・消防出張所	津波避難対象区域 ※鎌倉市津波避難計画により設定された区域で、県で公表されている複数の津波浸水想定区域を重ね合わせた際の最大の浸水範囲です。 （明応型地震による津波浸水予測（H24.3時点）+「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく津波浸水想定図（H27.3時点）） ※地図上の各施設の（ ）内及び「7.1」等は、その場所の海拔値です。
津波来襲時緊急避難建築物	福祉避難所	救急告示医療機関	
広域避難場所	行政センター	防災行政用無線	
指定避難所（ミニ防災拠点）	警察署・交番・駐在所	避難経路 ※この避難経路は避難を限定するものではありません	



この地図の作成に当たっては、藤沢市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した



2-6. 鎌倉市 津波ハザードマップ②

由比ガ浜・材木座・長谷・坂ノ下・
稲村ガ崎エリア(鎌倉地域)

	津波来襲時緊急避難空地		補助避難所(予備避難所)		警察署・交番・駐在所
	津波来襲時緊急避難建築物		福祉避難所		消防署・消防出張所
	広域避難場所		一時滞在施設(帰宅困難者用)		救急告示医療機関
	指定避難所(ミニ防災拠点)		市役所		防災行政無線

	国道134号を横断するアンダーパス
	避難経路 この避難経路は避難を想定するものではありません
	津波避難対象区域 ※鎌倉市津波避難計画により設定された区域で、県で公表されている複数の津波浸水想定区域を重ね合わせた際の最大の浸水範囲です。 (明応型地震による津波浸水予測(H24.3時点)・「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく津波浸水想定図(H27.3時点))

※地図上の各施設の()内及び「7.1」等は、その場所の海拔値です。

複数の地震による津波浸水予測をもとに、浸水域と浸水深が最大となるよう設定された区域

津波浸水想定区域

	10.0～20.0m 未満
	5.0～10.0m 未満
	3.0～5.0m 未満
	0.5～3.0m 未満
	0.5m 未満

下記の表示は鎌倉市において最大の津波高と最短の津波到達時間となる津波浸水予測の範囲を示しています。

想定地震名	最大津波高さ	最大津波到達時間
相模トラフ沿いの海溝型地震(西側モデル)	13.0m	14分
元禄関東地震タイプと国府津・松田断層帯地震の連動地震	7.7m	8分

※で示した津波来襲時緊急避難空地は想定浸水域内です。大津波警報が発表されたら、さらに高い場所を目指して避難してください。

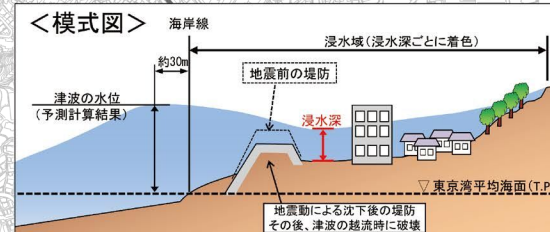
「鎌倉市津波ハザードマップ」について

この「鎌倉市津波ハザードマップ」は、神奈川県が平成27年3月に公表した「津波浸水想定図」を基に、避難所等の情報を合わせて示したマップです。

「津波浸水想定図」とは

- 「津波浸水想定図」は、神奈川県の沿岸地域における「津波高さ」または「浸水域」が最大となる、合計5つの地震による津波浸水予測図を基に、浸水域と浸水深が最大となるよう、重ね合わせた図面(津波浸水想定図)により設定されています。
- 「津波浸水想定図」では、シミュレーションで再現し切れない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があることなどから、「津波浸水想定図」における浸水域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定図」に示した最大の浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降の津波によって生じる場合があります。
- 「津波浸水想定図」では、河川内については、津波による水位変化を着色していませんが、津波の遡上に伴い、実際には水位が変化することがあります。
- 「津波浸水想定図」は、地面の高さを基準とした浸水域や浸水深を示しており、地下街や地下鉄などの地下空間の浸水については示していませんが、実際には、津波が地下空間に流入する場合があります。
- 詳細については、神奈川県 HP をご確認ください。
(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/jy2/cnt/f532320/index.html>)

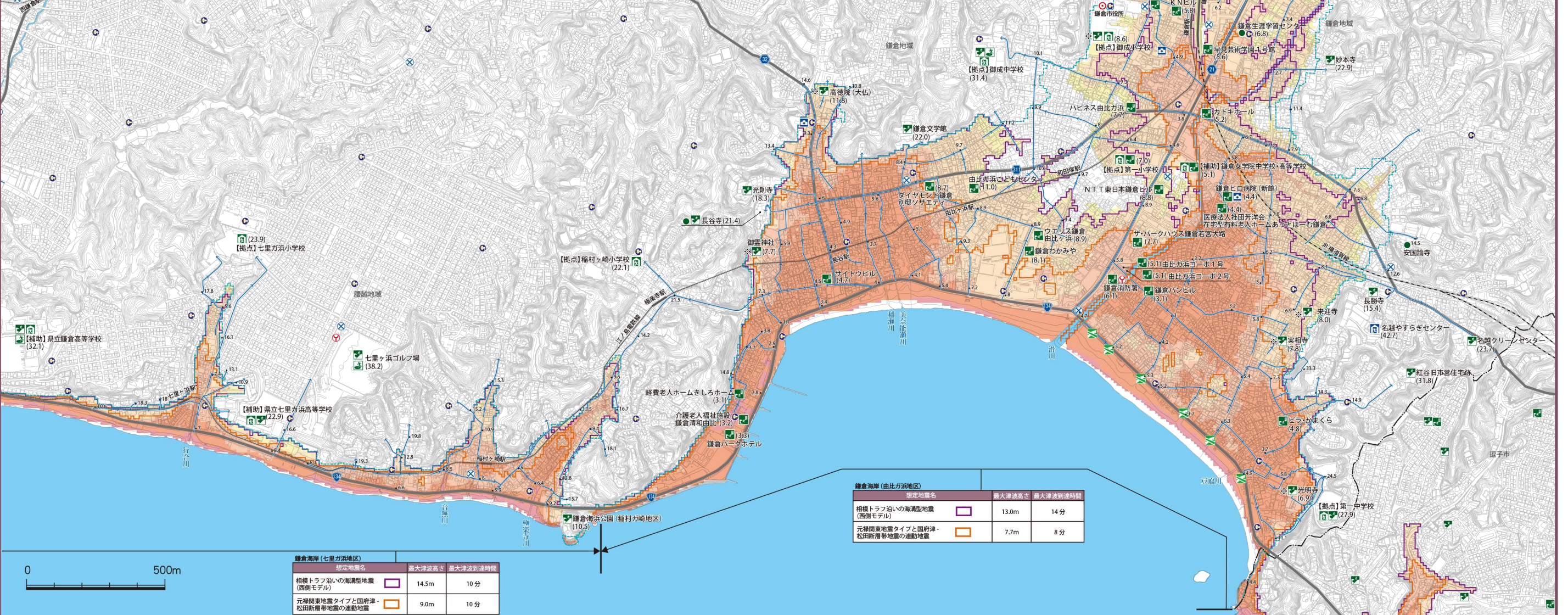
津波高さと浸水深、痕跡高、遡上高の関係



- ①浸水域について
海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域。
- ②浸水深について
陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ。
- ③最大津波高さについて
最大津波高さは、海岸線から沖合約30mの地点における津波水位の最大値で示しています(標高※で表示)。なお、気象庁が発表する津波の高さは、平常潮位(津波が無かった場合の同じ時刻の潮位)からの高さで、最大津波高さは基準が異なります。

※標高は東京湾平均海面(T.P.±0m)からの高さとして表示しています。

出典:津波浸水予測について(解説)平成27年3月神奈川県



この地図の作成に当たっては、逗子市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した

3-1. 鎌倉市で想定される風水害

大雨について

積乱雲の発達

「大気の状態が不安定」な時（上空に冷たい空気、地上に温かい空気の層がある時）に発生します。

積乱雲が近づくサイン

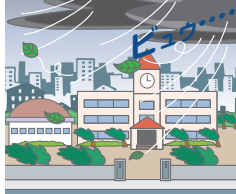
真っ黒い雲が近づいてくる



雷の音が聞こえてくる



急に冷たい風が吹いてくる

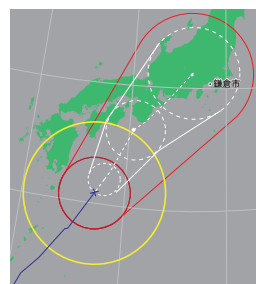


積乱雲は、激しい雨と雷をもたらします。

台風の接近

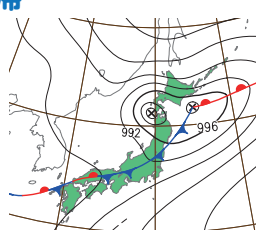
台風は巨大な空気の渦巻きになっており、反時計回りに強い風が吹き込んでいます。

また、台風は積乱雲が集まったもので、雨を広い範囲に長時間にわたって降らせます。



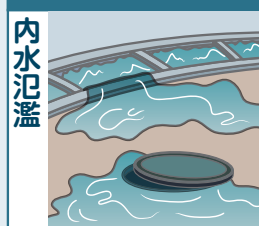
前線の停滞

日本付近では6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞し長雨をもたらします。



大雨・台風によって発生する災害について

水害

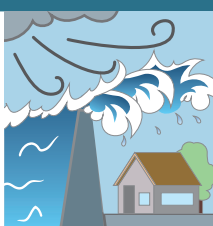


内水氾濫

外水氾濫（洪水）



高潮



土砂災害



土石流



想定される被害について

床下浸水・床上浸水



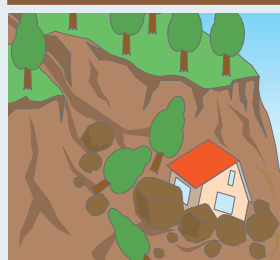
流れ込んでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積し日常生活に大きな影響を受けます。

家屋の流失



河川沿いでは、家屋が流失し、命の危険性もあります。

がけ崩れ



台風や大雨などでがけ崩れが発生する危険性があります。

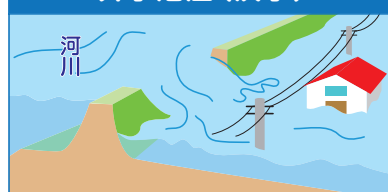
コラム 内水氾濫と外水氾濫

内水氾濫



短時間に大量の雨が降った際に、下水道管や水路等の排水能力を超えたり、河川の水位が上昇したときに雨水を排水できなくなり浸水する現象を「内水氾濫」といいます。（内水ハザードマップを確認）

外水氾濫（洪水）



大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水が流れ出す現象を「外水氾濫」といいます。（洪水ハザードマップを確認）

土砂災害の種類

土石流



大雨などをきっかけに谷底にたまった土砂や山腹から崩れ出した土砂が水と混じり合って一体となり、谷を一気に流れ下りる現象です。

がけ崩れ



大雨などにより地面にしみ込んだ雨水が土の抵抗力を弱め、急な斜面の土砂が崩れ落ちる現象です。

地すべり



雨や地下水などをきっかけに山すそや丘陵地などの斜面で、地中のすべりやすい地層を境に地面がゆっくり動き出す現象です。

土砂災害の前兆現象

右図のような前兆現象に気付いたら、すぐに安全な場所に避難し、市や警察、消防などに通報しましょう。

土砂災害の発生のおそれを知らせる「土砂災害警戒情報※」が発表されていなくても、「無駄足でも構わない」くらいの気持ちで、すぐに避難しましょう。

※土砂災害警戒情報…大雨による土砂災害発生の危険性が高まったとき、気象庁と神奈川県から共同で発表されます。この情報が発表されたときは土砂災害が非常に起こりやすい状況ですので警戒を強めてください。

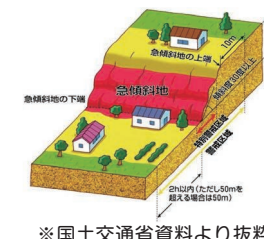
前兆現象に気付いたら、周囲の人にも伝え、すぐに避難をすることが大切です。



土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。



※国土交通省資料より抜粋

土砂災害特別警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

高潮と台風

「台風」は高潮を引き起こす要因である「低気圧」と「強風」を併せ持っています。台風の接近が予想される場合、高潮発生の可能性が高くなります。

台風と進路との関係

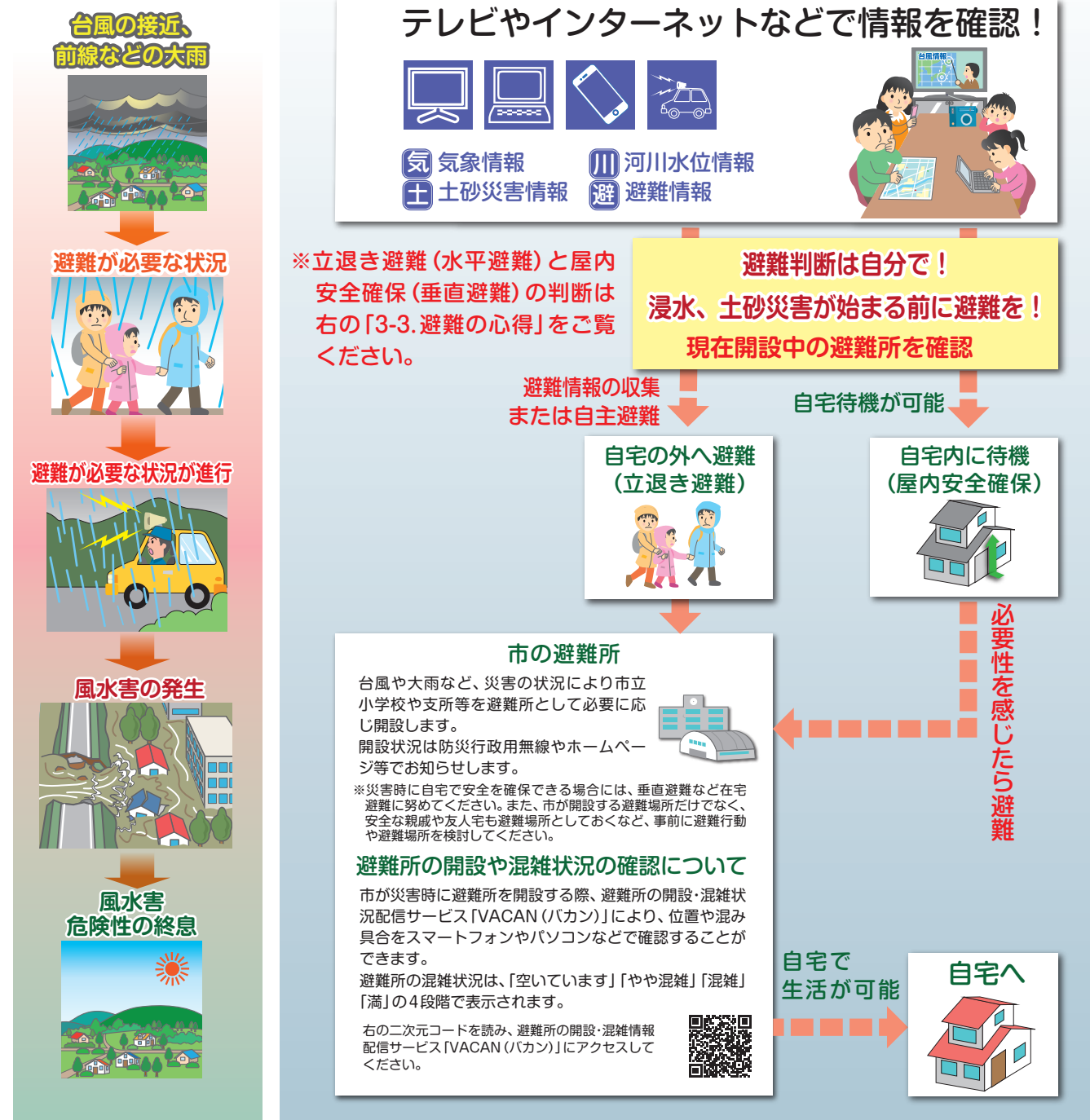
台風は進行方向に対して右側の風が強く、吹き寄せ効果による高潮が発生しやすくなります。



台風の強さ（最大風速）

強い台風	非常に強い台風	猛烈な台風
33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満	54m/s(105ノット)以上
立っていられなくなり、看板などが飛ぶ	樹木が折れ、トラック等が横転する	樹木や電柱が倒れ、住家倒壊の危険性がある

3-2. 風水害時に取るべき行動



3-3. 避難の心得

避難行動とは

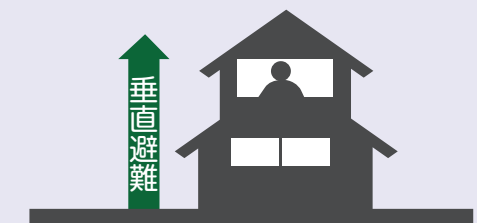
避難行動には、自宅外の避難場所や友人・知人宅、旅館やホテルなど、安全な場所へ移動する「立退き避難（水平避難）」と、自宅の2階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保（垂直避難）」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。

立退き避難（水平避難）



河川の近くや浸水深が大きくなる地域、土砂災害のおそれのある地域など、そこにいることが危険な場合は、避難所などへ立退き避難をしましょう。立退き避難（水平避難）は災害が発生する前に行うことが原則です。

屋内安全確保（垂直避難）



屋外へ出ることが危険な場合は、避難するタイミングに応じて自宅に留まり2階へ移動するなど、屋内安全確保（垂直避難）をしましょう。

立退き避難の心得



逃げ遅れたら

- 浸水が始まる前に避難を！
浸水が始まると、水深が浅くても流れの速さによっては足をすくわれます。また、側溝やマンホール、水路などが確認できず転落するおそれがあります。
- 避難判断は自分で！
気象庁や市からの避難情報などの防災情報をもとに、自主的な避難行動を心がけましょう。
- 移動手段は徒歩で！
車は故障や渋滞、災害の状況によっては動かなくなるおそれがあります。

注意すべき事項

- 危険な箇所には近づかない！
内水氾濫や洪水：河川付近、用水路、アンダーパス
土砂災害：急な斜面近く
高潮：海岸近くの低地、湾の奥部や河口部

その他避難時の留意事項

- 避難時は動きやすい服装で！
特に靴は歩きやすい運動靴で。長靴は水が入るとかえって歩きにくくなります。
- 移動は二人以上で！
一人だといざという時に助け合えません。
- 夜間の避難は要注意！
夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。
- 非常持出品を準備して避難！



コラム 家庭の浸水災害を軽減する

土のうが無くて、ゴミ袋やプランター、ポリタンク、レジャーシートなどの身近なものを使って、家の浸水を防ぐことができます。

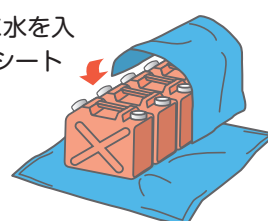
ゴミ袋による簡易水のう

ゴミ袋を二重にし半分程度水を入れて、ダンボール箱に入れ連結します。



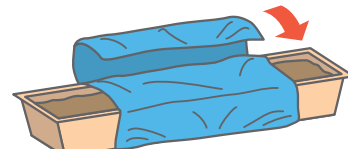
ポリタンクとレジャーシート

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結します。



プランターとレジャーシート

土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み使用します。



3-4. 風水害時の情報と行動の目安

警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	状況	住民の皆さんが取るべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)			
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)	ヒキクル(危険度分布)	高潮情報
警戒レベル5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保	氾濫発生情報	大雨特別警報(土砂災害)	災害切迫	高潮氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難!>							
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報	危険	高潮警報または高潮特別警報
警戒レベル3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報	警戒(警報級)	高潮注意報 高潮警報に切り替える可能性が高い
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報	—	注意(注意報級)	高潮注意報
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	—	—	—	—

※気象庁は、住民自らの避難の判断を下す際に参考となるよう気象情報に「警戒レベル〇(3～5)相当」というように「相当」という表現を用いて発表しますが、市では、市内の状況を見極めて避難情報を発令するため警戒レベルと警戒レベル相当は必ずしも一致しません。

河川の水位情報

河川水位	少 降水量 多				
	河川名(量水標名)	水防団待機水位 通報水位	氾濫注意水位 警戒水位	避難判断水位	氾濫危険水位
氾濫危険水位	滑川(大町橋)	1.60m	2.00m	2.00m	2.30m
避難判断水位	神戸川(大津橋)	1.30m	1.40m	1.40m	1.70m
氾濫注意水位	柏尾川(神鋼橋)	2.60m	3.60m	4.90m	5.60m
水防団待機水位					

雨の降り方と雨量の目安

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
状況	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる

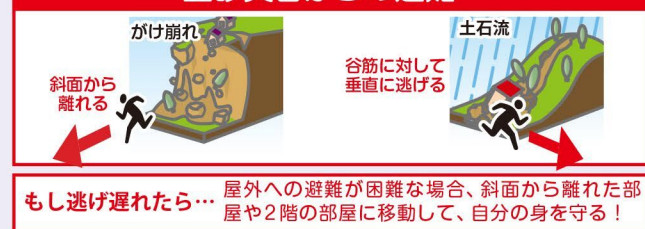
土砂災害警戒情報

大雨警報(土砂災害)の発表後、命に危険を及ぼすほどの土砂災害の危険性が高まったとき、市が発令する避難指示などの判断や、住民が自主避難を行う判断の参考となるように、神奈川県と横浜地方気象台が共同して発表する防災情報です。

土砂災害の危険が高まっている詳細な領域については、大雨警報(土砂災害)の危険度分布を確認してください。

周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたら躊躇することなく自主避難をお願いします。

土砂災害からの避難



3-5. 鎌倉市 洪水ハザードマップ①

神戸川水系(腰越地域)

鎌倉市洪水ハザードマップ(神戸川水系神戸川)

この「鎌倉市洪水ハザードマップ(神戸川水系神戸川)」は、神奈川県が令和元年12月に公表した「神戸川水系洪水浸水想定区域(想定最大規模)」と市独自に調査を行った区間の洪水浸水想定区域を基に、避難所等の情報を合わせて示したマップです。

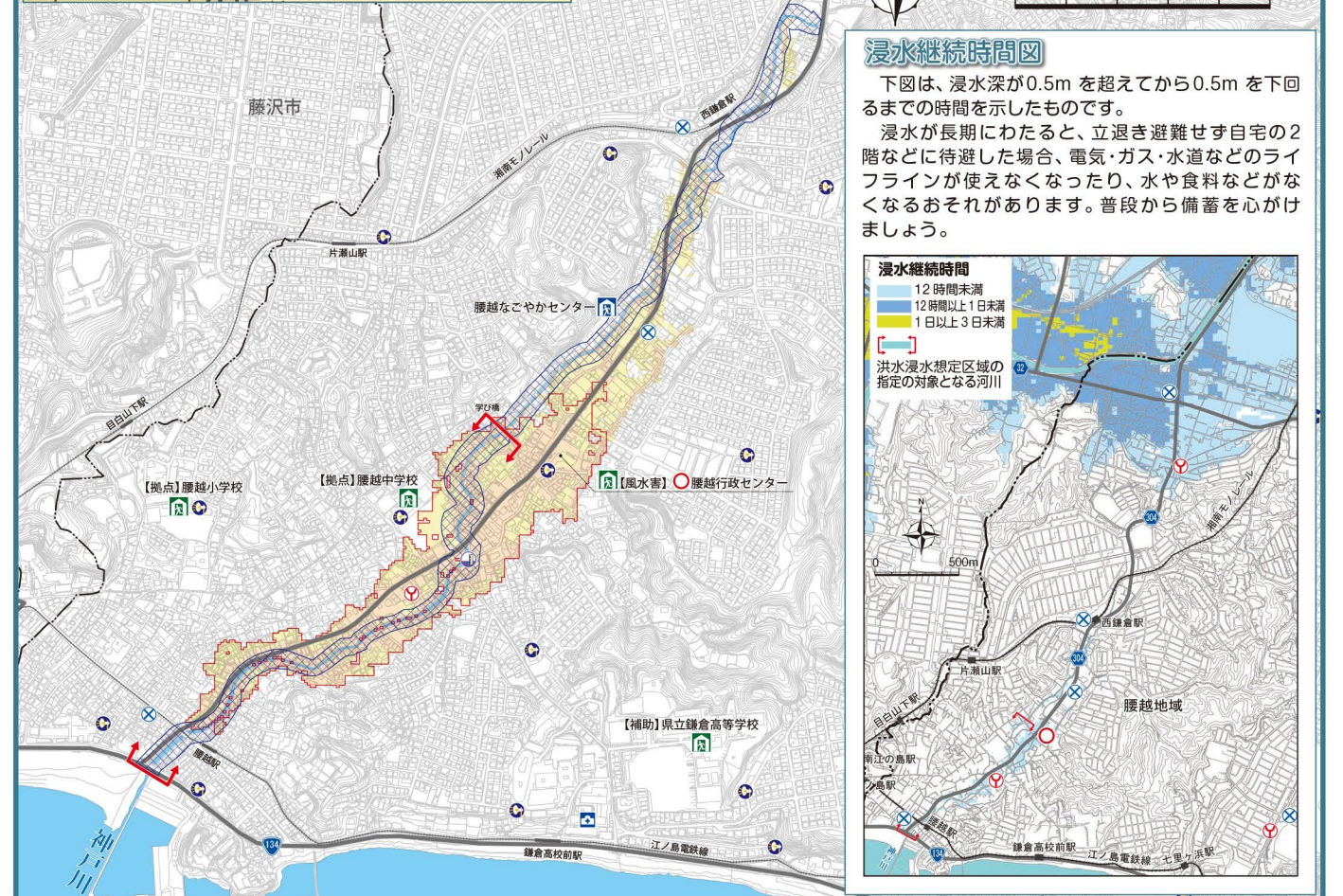
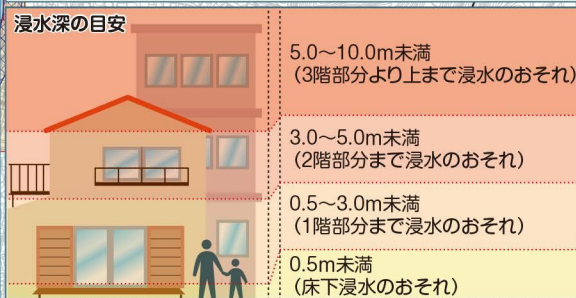
「洪水浸水想定区域」とは

想定最大規模降雨に伴う洪水により、神戸川水系の河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

マップの赤枠で囲まれた範囲は、水防法に基づき県が公表している浸水想定区域であり、それ以外の区域は市のシミュレーションにより算出した結果を示しています。

シミュレーションの実施に当たっては、前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

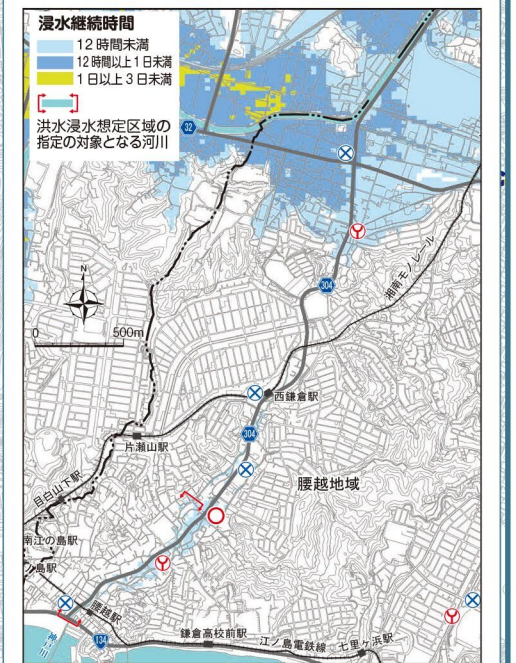
作成主体	対象河川名(神戸川水系)	指定の前提となる降雨	指定年月日
神奈川県	神戸川(県管理区間)	神戸川流域の24時間総雨量309mm	R1.12.20
鎌倉市	神戸川(市管理区間)	—	—



浸水継続時間図

下図は、浸水深が0.5mを超えてから0.5mを下回るまでの時間を示したものです。

浸水が長期にわたると、立退き避難せず自宅の2階などに待避した場合、電気・ガス・水道などのライフラインが使えなくなったり、水や食料などがなくなるおそれがあります。普段から備蓄を心がけましょう。



この地図の作成に当たっては、藤沢市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した

3-5. 鎌倉市 洪水ハザードマップ②

境川水系(深沢、大船、玉縄地域)

鎌倉市洪水ハザードマップ (境川水系柏尾川、砂押川、新川、小袋谷川、滝ノ川)

この「鎌倉市洪水ハザードマップ(境川水系版)」は、神奈川県が平成30年1月に公表した「境川水系洪水浸水想定区域(想定最大規模)」と市独自に調査を行った中小河川の洪水浸水想定区域を基に、避難所等の情報を合わせて示したマップです。
また、各洪水浸水想定区域の重ね合わせを行い、最大浸水深を示しています。

「洪水浸水想定区域」とは

想定最大規模降雨に伴う洪水により、境川水系の河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
マップの赤枠で囲まれた範囲は、水防法に基づき県が公表している浸水想定区域であり、それ以外の区域は市のシミュレーションにより算出した結果を示しています。
シミュレーションの実施に当たっては、前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

作成主体	対象河川名 (境川水系)	指定の前提となる降雨	指定年月日
神奈川県	柏尾川	境川流域の 24時間雨量 632mm	H30.1.26
鎌倉市	砂押川		—
	新川		
	小袋谷川		
	滝ノ川		

	指定避難所(ミニ防災拠点)
	補助避難所(予備避難所)
	福祉避難所
	一時滞在施設(帰宅困難者用)
	行政センター
	警察署・交番・駐在所
	消防署・消防出張所
	救急告示医療機関
	防災行政用無線
	水位計

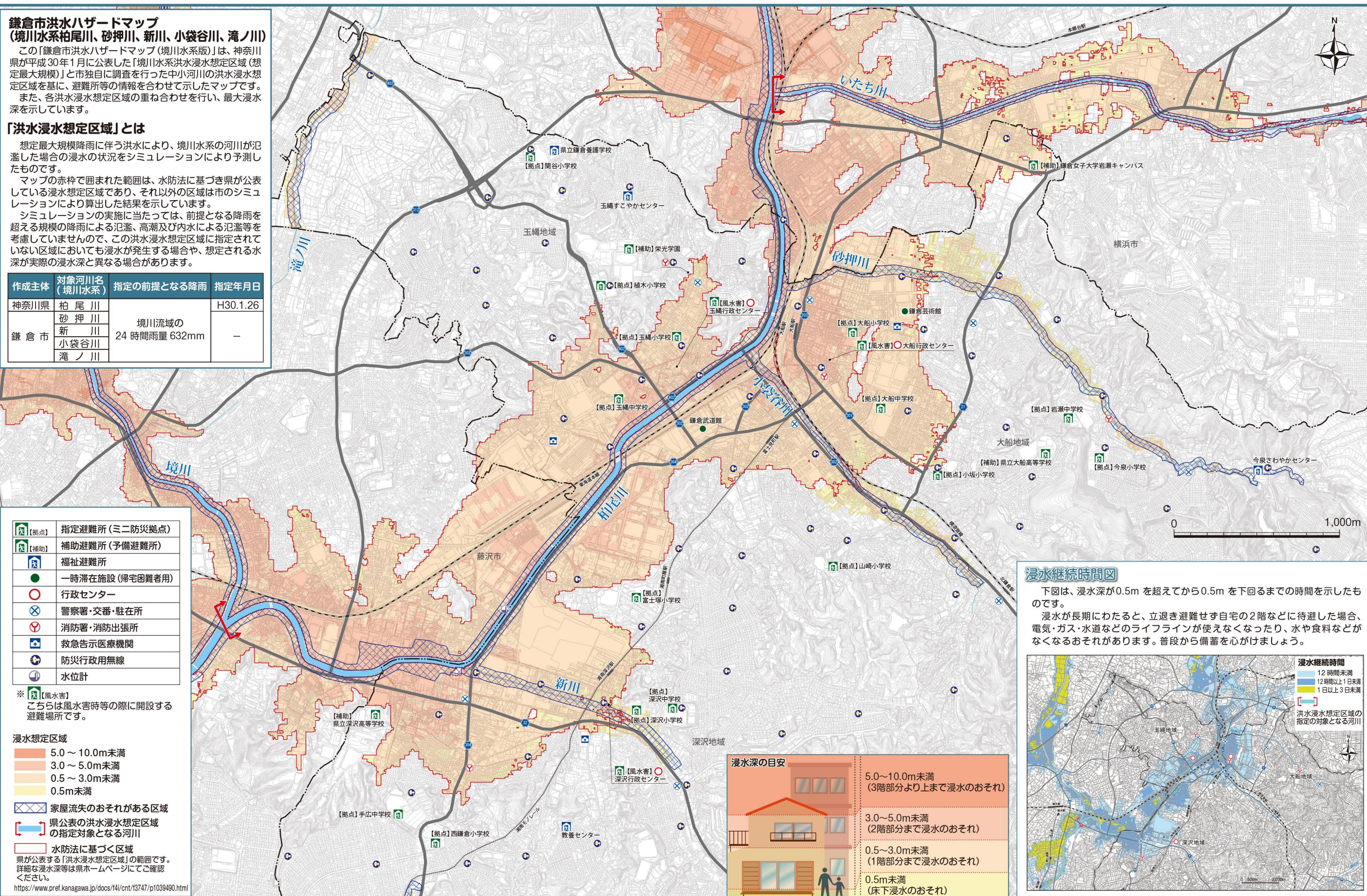
※
こちらは風水害時等に開設する避難場所です。

浸水想定区域

- 5.0～10.0m未満
- 3.0～5.0m未満
- 0.5～3.0m未満
- 0.5m未満

県が公表する「洪水浸水想定区域」の範囲です。
詳細な浸水深等は県ホームページにてご確認ください。

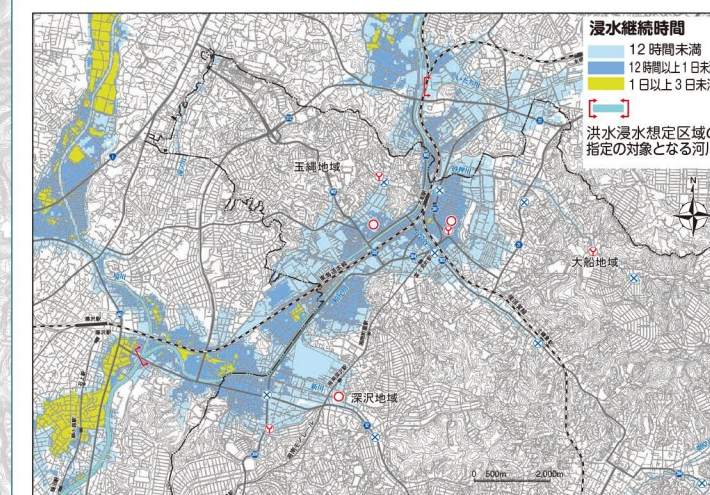
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/14/cnt/13747/p1039490.html>



浸水継続時間図

下図は、浸水深が0.5mを超えてから0.5mを下回るまでの時間を示したものです。

浸水が長期にわたると、立退き避難せず自宅の2階などに待避した場合、電気・ガス・水道などのライフラインが使えなくなったり、水や食料などがなくなるおそれがあります。普段から備蓄を心がけましょう。



浸水深の目安

	5.0～10.0m未満 (3階部分より上まで浸水のおそれ)
	3.0～5.0m未満 (2階部分まで浸水のおそれ)
	0.5～3.0m未満 (1階部分まで浸水のおそれ)
	0.5m未満 (床下浸水のおそれ)

3-5. 鎌倉市 洪水ハザードマップ③

滑川水系(鎌倉地域)

鎌倉市洪水ハザードマップ(滑川水系滑川、二階堂川、吉沢川、太刀洗川)

この「鎌倉市洪水ハザードマップ(滑川水系版)」は、神奈川県が令和2年4月に公表した「滑川水系洪水浸水想定区域(想定最大規模)」と市独自に調査を行った中小河川の洪水浸水想定区域を基に、避難所等の情報を合わせて示したマップです。

また、各洪水浸水想定区域の重ね合わせを行い、最大浸水深を示しています。

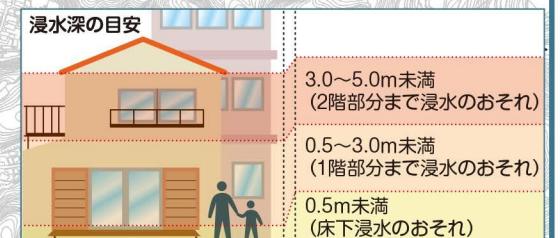
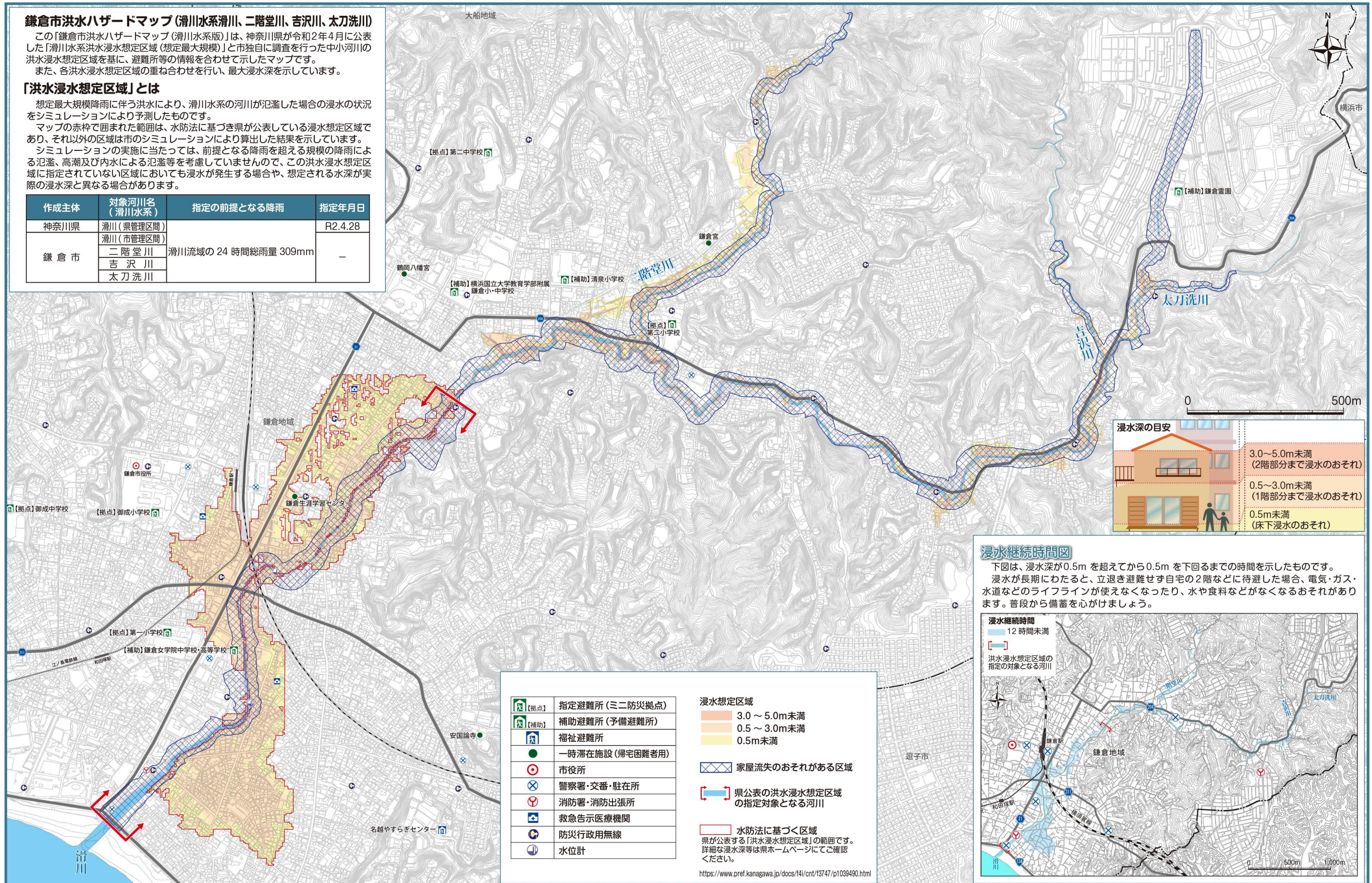
「洪水浸水想定区域」とは

想定最大規模降雨に伴う洪水により、滑川水系の河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

マップの赤枠で囲まれた範囲は、水防法に基づき県が公表している浸水想定区域であり、それ以外の区域は市のシミュレーションにより算出した結果を示しています。

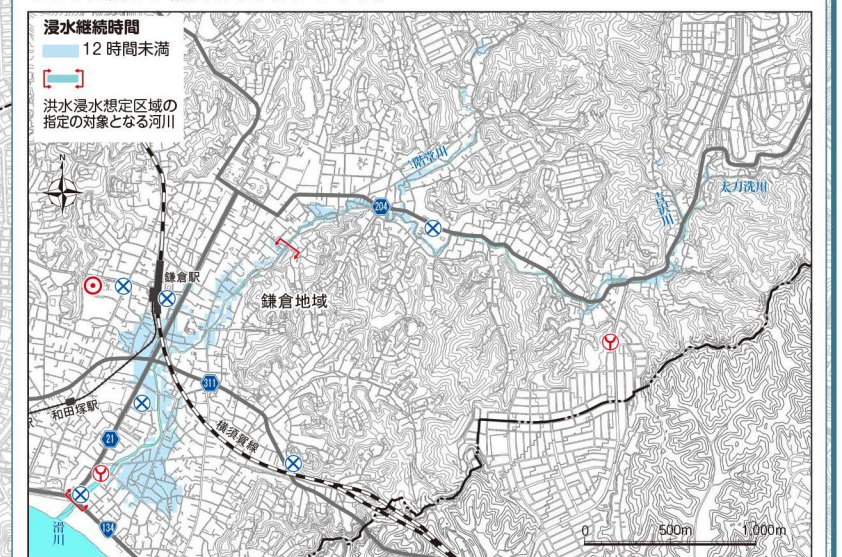
シミュレーションの実施に当たっては、前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

作成主体	対象河川名 (滑川水系)	指定の前提となる降雨	指定年月日
神奈川県	滑川(県管理区間)	滑川流域の24時間総雨量309mm	R2.4.28
鎌倉市	滑川(市管理区間)		—
	二階堂川		
	吉沢川		
	太刀洗川		



浸水継続時間図

下図は、浸水深が0.5mを超えてから0.5mを下回るまでの時間を示したものです。浸水が長期にわたると、立退き避難せず自宅の2階などに待避した場合、電気・ガス・水道などのライフラインが使えなくなったり、水や食料などがなくなるおそれがあります。普段から備蓄を心がけましょう。



【拠点】	指定避難所(ミニ防災拠点)
【補助】	補助避難所(予備避難所)
【福祉】	福祉避難所
●	一時滞在施設(帰宅困難者用)
○	市役所
⊗	警察署・交番・駐在所
⊗	消防署・消防出張所
⊗	救急告示医療機関
⊗	防災行政無線
⊗	水位計

浸水想定区域
3.0～5.0m未満
0.5～3.0m未満
0.5m未満

家屋流失のおそれがある区域

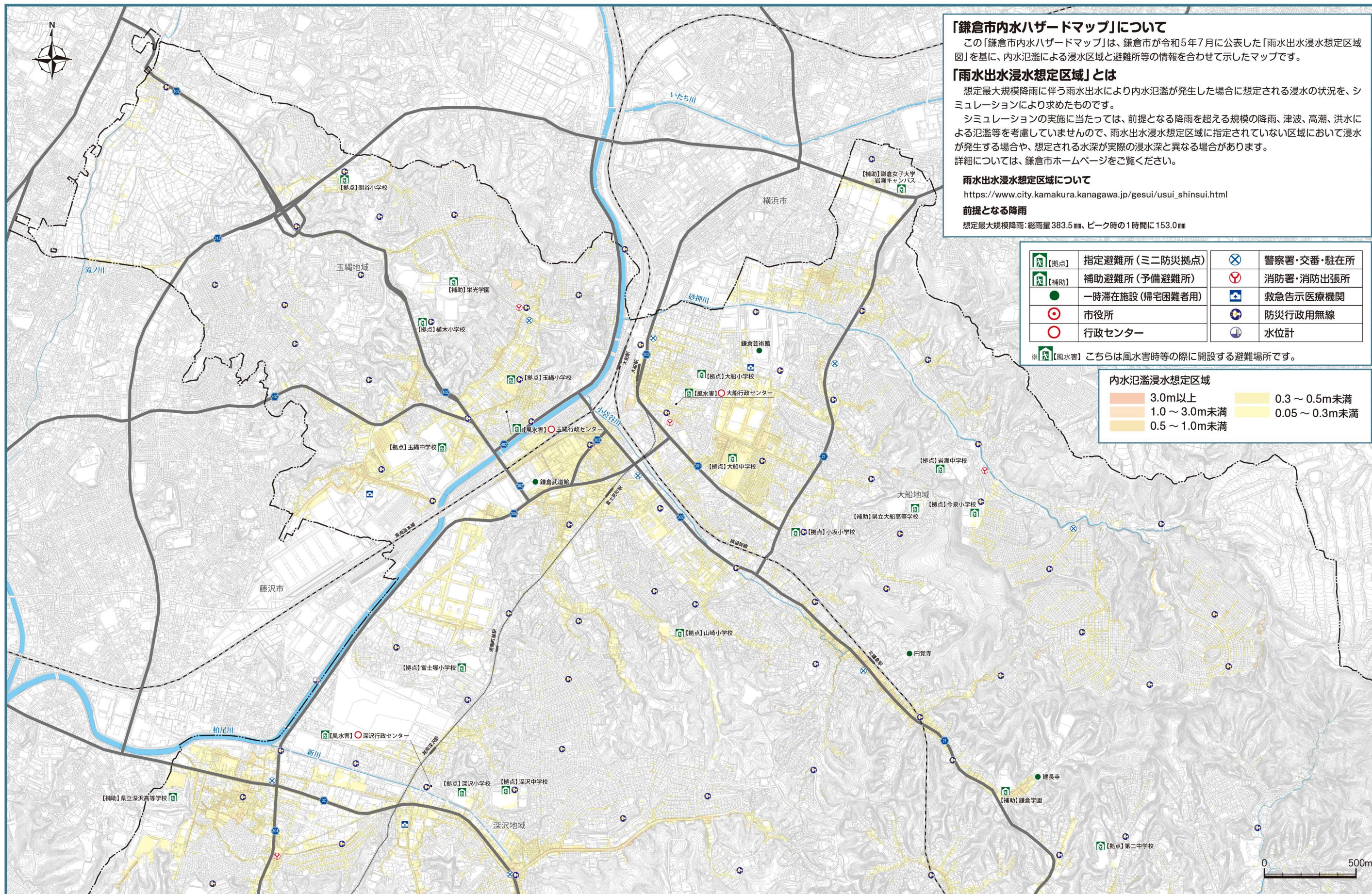
県公表の洪水浸水想定区域の指定対象となる河川

水防法に基づく区域
県が公表する「洪水浸水想定区域」の範囲です。
詳細な浸水深等は県ホームページにてご確認ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cnt/f3747/p1039490.html>

3-6. 鎌倉市 内水ハザードマップ①

大船・玉縄地域



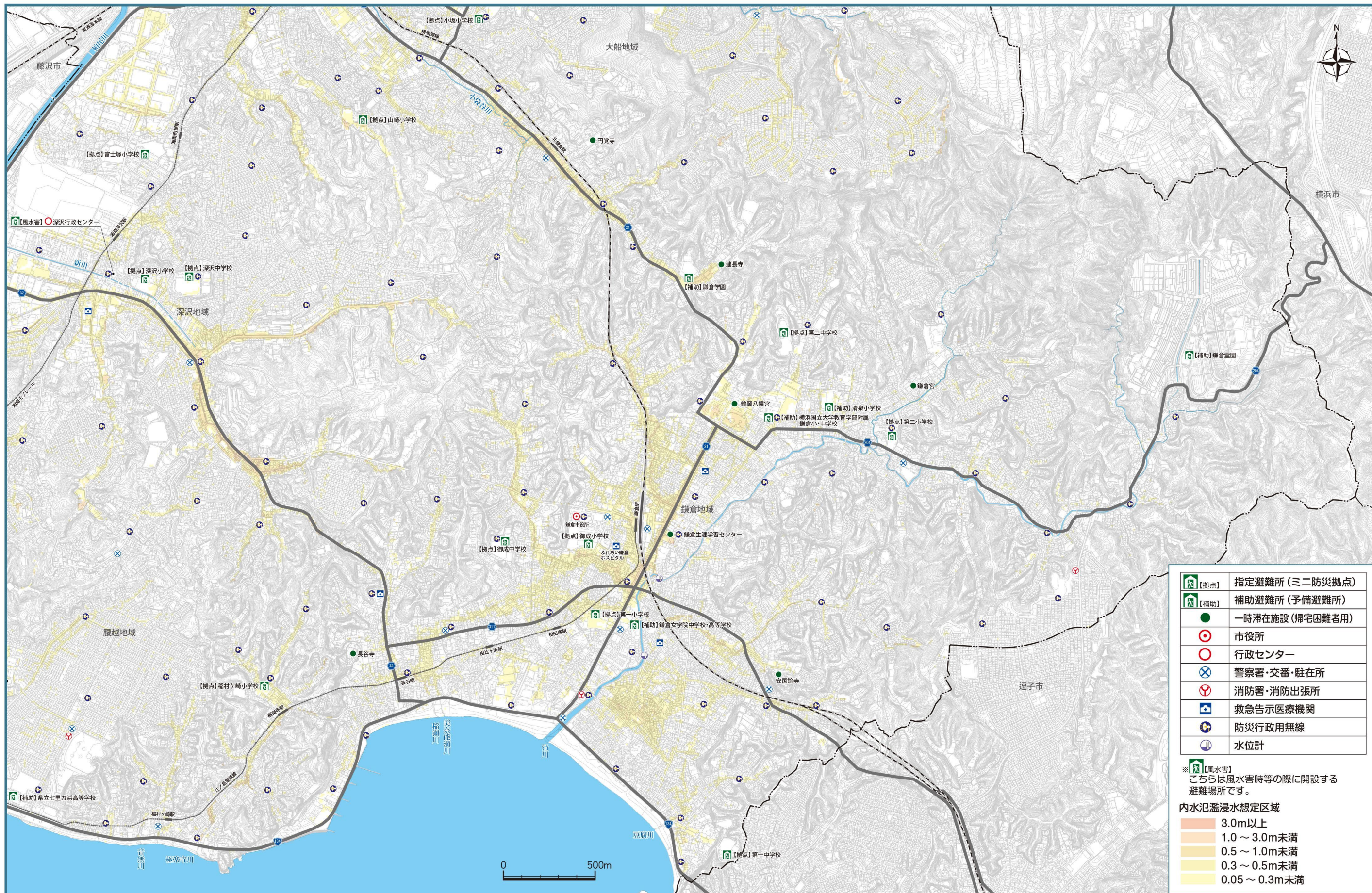
3-6. 鎌倉市 内水ハザードマップ②

腰越・深沢地域



3-6. 鎌倉市 内水ハザードマップ③

鎌倉地域



横浜市建築局横浜市都市計画基本図データ(地図情報レベル2500)により作成
この地図の作成に当たっては、藤沢市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した
この地図の作成に当たっては、逗子市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した

はじめに

地震・津波

風水害・土砂災害

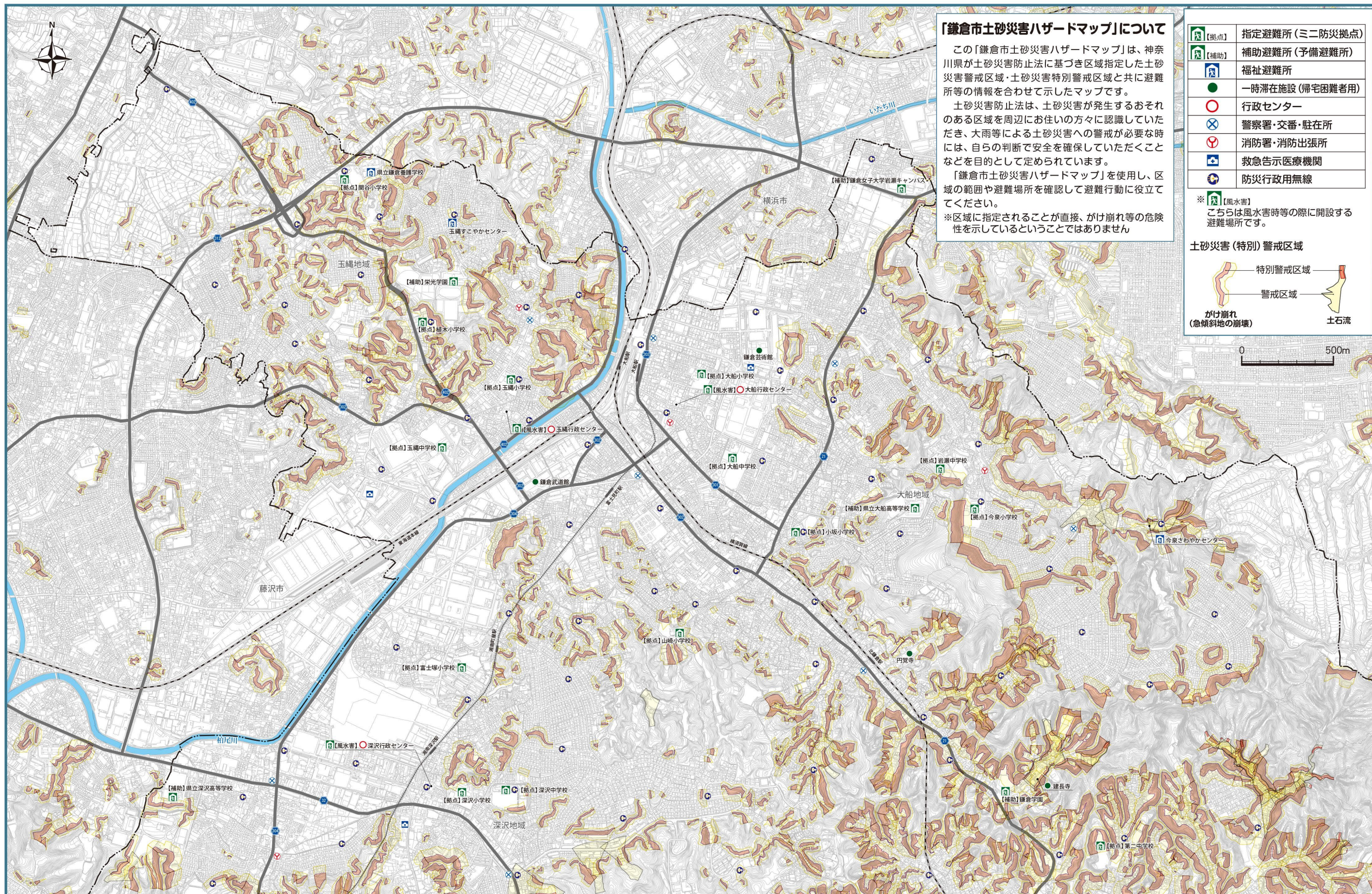
はじめに

地震・津波

風水害・土砂災害

3-7. 鎌倉市 土砂災害ハザードマップ①

大船・玉縄地域



3-7. 鎌倉市 土砂災害ハザードマップ②

腰越・深沢地域



はじめに

地震・津波

風水害・土砂災害

40

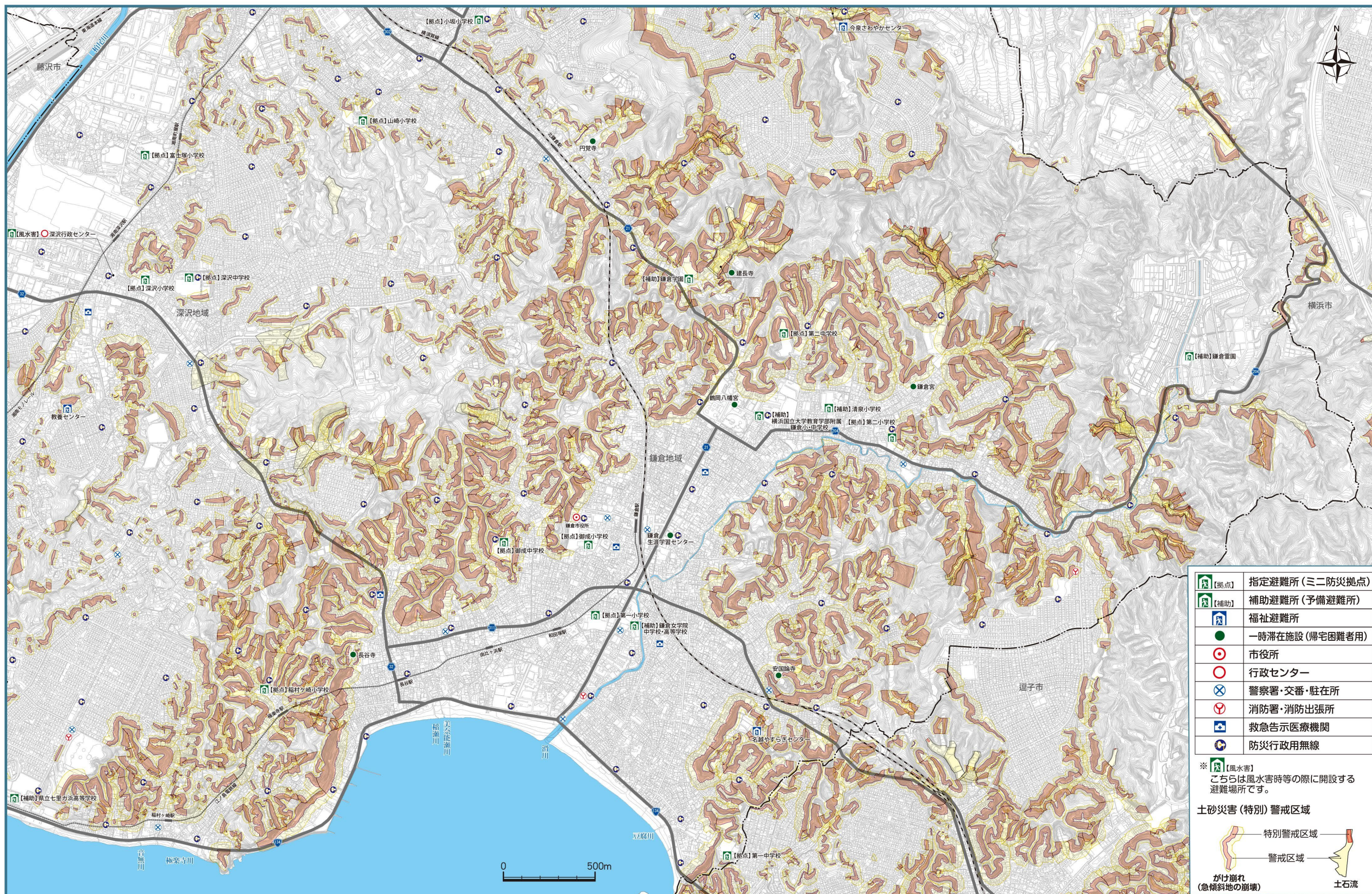
39

この地図の作成に当たっては、藤沢市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した
 この地図の作成に当たっては、逗子市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した

この地図は2023年8月8日時点で作成した。
 最新の情報は、「神奈川県土砂災害情報ポータル」を参照ください。

3-7. 鎌倉市 土砂災害ハザードマップ③

鎌倉地域



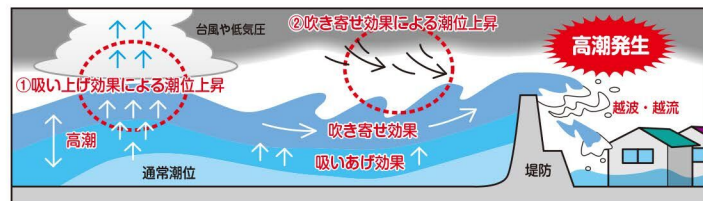
横浜市建築局横浜市都市計画基本図データ(地図情報レベル2500)により作成
この地図の作成に当たっては、藤沢市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した
この地図の作成に当たっては、逗子市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した

この地図は2023年8月8日時点で作成した。
最新の情報は、「神奈川県土砂災害情報ポータル」を参照ください。

3-8. 高潮について

高潮発生の仕組み

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により潮位(海面)が高くなる現象です。主な原因としては次のとおりです。



① 気圧低下による吸い上げ

台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いため、気圧の高い周辺の空気は海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が1hPa(ヘクトパスカル)下がると、潮位は約1cm上昇と言われています。

② 風による吹き寄せ

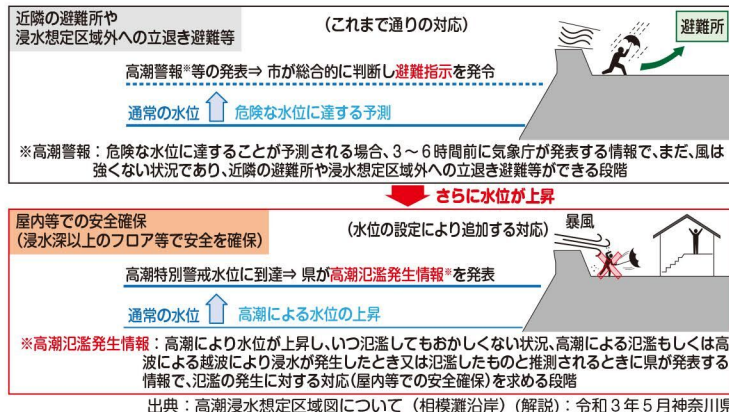
台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が上昇します。風速が2倍になった場合、海面上昇は4倍となります。

状況に応じた避難行動

神奈川県では、高潮による災害の発生を特に警戒すべき水位として、「高潮特別警戒水位」を設定しました。

検潮所の水位がこの水位に達した場合には、県は「高潮氾濫発生情報(避難情報等における警戒レベル5相当情報)」を発表します。台風による強風や大雨、またはすでに高潮発生が予想されるため、立退き避難は危険な場合があります。状況に応じた避難行動をとしましょう。

鎌倉市における高潮特別警戒水位
T.P.+1.10m(油壺検潮所)



「鎌倉市高潮ハザードマップ」について

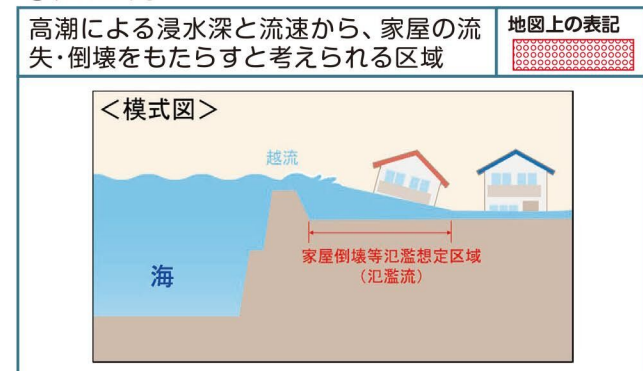
この「鎌倉市高潮ハザードマップ」は、神奈川県が令和3年8月に公表した「高潮浸水想定区域図」を基に、避難所等の情報を合わせて示したマップです。

「高潮浸水想定区域図」とは

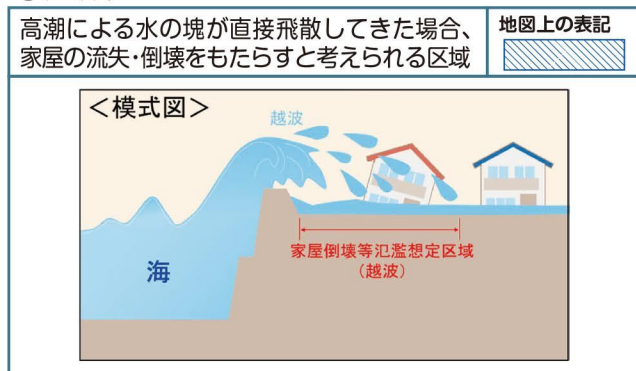
- 水防法(昭和24年法律第193号)第14条の3に基づき、国内観測史上、最も大きな台風が、沿岸に最悪の被害を与える経路で襲来した場合の最大となる高潮浸水区域、浸水深及び浸水継続時間をシミュレーションにより予測したものです。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下街等の地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合もあります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドックなど、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、一級、二級河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水(内水)が発生することなど、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- この区域図は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。
- 詳細については、神奈川県 HP をご確認ください。(https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/takashio/sagami-bay.html)

家屋倒壊等氾濫想定区域(高潮)

① 氾濫流



② 越波



出典：高潮浸水想定区域図について(相模灘沿岸)(解説)：令和3年5月神奈川県

3-9. 鎌倉市 高潮ハザードマップ①

腰越・七里ガ浜エリア(腰越地域)【高潮浸水想定区域】



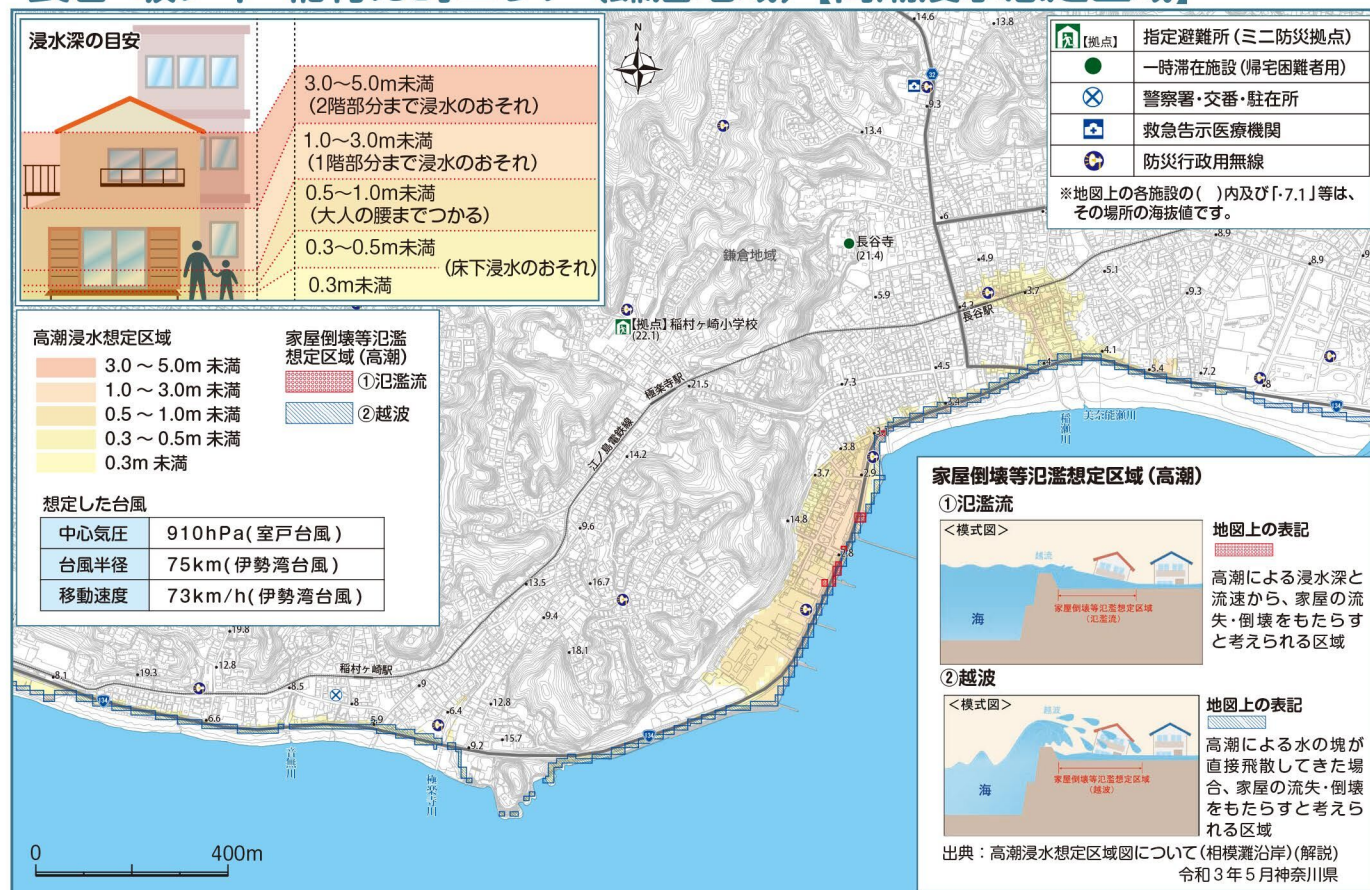
腰越・七里ガ浜エリア(腰越地域)【高潮浸水継続時間図】



この地図の作成に当たっては、藤沢市の承認を得て、同市発行の2500分の1図を使用した

3-9. 鎌倉市 高潮ハザードマップ②

長谷・坂ノ下・稲村ガ崎エリア（鎌倉地域）【高潮浸水想定区域】



3-9. 鎌倉市 高潮ハザードマップ③

由比ガ浜・材木座（鎌倉地域）【高潮浸水想定区域】



長谷・坂ノ下・稲村ガ崎エリア（鎌倉地域）【高潮浸水継続時間図】



由比ガ浜・材木座（鎌倉地域）【高潮浸水継続時間図】

